

豊橋市自然史博物館年報

第 32 号

令和元（平成 31）年度

ANNUAL REPORT OF THE
TOYOHASHI MUSEUM OF NATURAL HISTORY

No. 32

2019-2020

豊橋市自然史博物館

Toyohashi Museum of Natural History

Toyohashi 441-3147, Japan

は　じ　め　に

新しい元号「令和」が目前に迫った平成31年4月13日、開館以来の累計入館者数が1500万人を達成しました。昭和63年5月の開館から、ほぼ31年間、皆様にご支援をいただきながら歩み続けてきた成果であるとしみじみ感じております。これまでのご協力に深く感謝いたしますとともに、今後も末永いおつきあいをお願い申し上げます。

令和元年6月2日、県内における大きな行事として、「第70回全国植樹祭あいち2019」（愛知県主催）が天皇皇后両陛下御臨席のもと、愛知県森林公園（尾張旭市）で開催されました。当館が位置する豊橋総合動植物公園（のんほいパーク）もサテライト会場のひとつとして活用いただきました。館内の大型映像スクリーンでは、式典の様子などを映すパブリックビューイングを行い（観覧者数260名）、屋外の野外恐竜ランド周辺では、「ブラキオサウルス模型」の足元に植栽を行うイベントや、テント形式によるブース出展などが実施され、1,500名を超える方々にご参加いただきました。

夏の特別企画展「深海の玉手箱」（7/12～9/1）は、深海の生物や資源探査などについて紹介。漁港等での資料入手をはじめ、新たな手法の標本作製、展示にも取り組みました。目玉展示として2018年に三河港神野ふ頭に死亡漂着したマッコウクジラの頭骨（約2.3m）を標本化して特別企画展の会場内に展示。会期中にはこのクジラにより親しみを持っていただくため、観覧者の皆さまから愛称を募集。「まこりん」という可愛い名前を付けていただきました。また、毎年JR豊橋駅の東西自由連絡通路には、当館と連携協定を締結している名古屋芸術大学の皆さんに特別企画展のPRを目的とした作品を制作・展示していただいておりますが、今回は深海をイメージしたトリックアートの制作をお願いしました。深海魚リュウグウノツカイをはじめ、ミツクリザメやラブカなどの深海ザメ、タカアシガニといった深海生物の世界が、豊橋駅に降り立った方々を出迎えてくれました。特別企画展の会場内にはマッコウクジラとダイオウイカをイメージした別デザインのトリックアートも展示され、記念撮影スポットとして人気を集めました。

特別企画展の開催と同時に、館内のミュージアムショップもリニューアルオープンしました。新ショップ名は「Museum Shop Rupes（ルーペス）」です。地球の歴史を積み重ねてきた「地層」をイメージコンセプトとした斬新な内装となりました。

12月には、当館を会場として「第34回日本植生史学会大会」（12/6～12/8）が開催されました。公開シンポジウム「種の同定への挑戦：植物化石や植物遺体から種はどこまで認識できるのか？」には、一般市民を含め97名の参加がありました。また、関連行事の企画展「豊橋周辺の植物化石」（11/16～12/15）の会期中には39,472人の方々に来館いただきました。

令和元年11月に、3D対応の機器にリニューアルした大型映像は、迫力のある映像と恐竜関連の番組が人気を集め、令和元年度中には48,538人もの方々に観覧いただきました。しかしながら、2月末からは新型コロナウイルスの感染予防及び拡散防止のため、大型映像の座席や館内各所のアルコール消毒、観覧者数の制限、ハンズオン展示の休止等を経て、令和2年4月14日から5月26日まで臨時休館とさせていただき、現在も一部制限させて頂いております。

一日も早く現在の状況が終息することを、職員一同、心より願っております。

令和2年6月
豊橋市自然史博物館

目次

はじめに

I. 年間事業

1. 令和元年度のあゆみ -----4
2. 教育普及活動
 - (1) 第34回特別企画展
「深海の玉手箱」 -----5
 - (2) 企画展
 - 1) 平成30年度 新収蔵資料紹介展 ----9
 - 2) 世界のタガメ -----9
 - 3) ジオパークを知ろう！ -----9
 - 4) 豊橋周辺の植物化石 -----9
 - 5) 子～お正月までいくつ子(ね)る?～ --9
 - 6) ボルネオ保全プロジェクト企画 --10
 - 7) 歯～動物たちも歯が命～ -----10
 - (3) トピック展示 -----10
 - (4) 大型映像 -----11
 - (5) 東三河ジオパーク構想事業 -----13
 - (6) ワークショップ・展示解説会など
 - 1) 講演会 -----15
 - 2) ワークショップ -----15
 - 3) 解説会 -----16
 - 4) 収蔵庫見学会 -----17
 - 5) 名古屋大学出前授業 in 豊橋 2019--18
 - 6) 企画展「ジオパークを知ろう！」
関連ワークショップ -----18
 - (7) 総合動植物公園関連イベント ----19
 - (8) 第15回自然史博物館自由研究展 ---20
 - (9) 自由研究相談 -----22
 - (10) 市民からの質問等対応 -----22
 - (11) 小中高等学校等の学習支援
 - 1) 標本貸出セット -----22
 - 2) 職場体験学習等 -----23
 - 3) わくわく体験活動 -----24
 - 4) 高等学校・大学の学習利用 -----24
 - 5) 校外学習等 -----24
 - 6) 授業・学習支援センターへの協力--24
 - (12) 博物館実習生等の受入れ
 - 1) 令和元年度博物館実習 -----25
 - 2) 大学の博物館学関連実習等 -----25
 - (13) 研修等の受入れ
 - 1) 現職教員の研修等 -----25

- 2) インターンシップ -----25
 - 3) 教員研修等 -----26
 - 4) その他 -----26
- (14) 出版活動 -----26
 - (15) 連携・共催事業等
 - 1) 名古屋芸術大学との連携事業 ----27
 - 2) あいちサイエンス・コミュニケー
ション・ネットワーク -----27
 - 3) 企画展「子～お正月までいくつ子(ね)る?～」--27
 - 4) 二川地区連携事業
「謎解き フタガワCODE」 ---28
 - 5) AELネット環境学習スタンプラリー---28
 - (16) 講師・委員の派遣等
 - 1) 出前授業 -----29
 - 2) 講義・講演等 -----30
 - 3) 委員等の委嘱、派遣 -----31
3. 学会等の誘致
 - (1) 第34回日本植生史学会大会 -----31
 4. 調査研究活動
 - (1) 学芸員等の研究業績等 -----31
 - (2) 学会、研究会等への参加 -----35
 - (3) 調査研究に係る出張 -----35
 - (4) 外部研究資金助成等の獲得 -----35
 5. 資料の収集・保管活動
 - (1) 採集資料 -----36
 - (2) 寄贈資料 -----37
 - (3) 収蔵資料状況 -----40
 - (4) 鳥類等の資料化 -----40
 - (5) 外部研究者の資料利用 -----41
 - (6) 資料及び標本の貸出・借用 -----41
 - (7) 図書 -----43
 6. 施設整備
 - (1) 収蔵庫5標本棚 -----44
 - (2) 屋上防水等改修工事及び
古生代展示室予防保全工事 -----44
 - (3) その他修繕等 -----44
- ### II. 利用状況
1. 入館者
 - (1) 自然史博物館利用統計 -----46
 - (2) 入館者種別 -----47
 - (3) ホームページ閲覧者数 -----48
 - (4) 石巻自然科学資料館入館者状況 ---49

Ⅲ. 組織及び運営	
1. 組織	
(1) 運営組織	50
(2) 自然史博物館職員	50
2. 博物館の使用料等	50
3. 決算	
(1) 令和元年度歳入歳出決算見込	51
4. 豊橋市自然史博物館協議会	52
5. 各種委員会	
(1) 豊橋市自然史博物館資料収集委員会	53
(2) 豊橋市自然史博物館研究委員会	53
(3) 豊橋市自然史博物館大型映像番組 選定委員会	54
6. 自然史博物館ボランティア	54
Ⅳ. 条例、規則、要綱	57
自然史博物館の概要	63

I. 年間事業

1. 令和元年度のあゆみ

31. 4. 1. 大型映像「スカイズ」他（～6.23）
4. 9. 東三河管内小中学校校長会
4. 13. 入館者 1,500 万人達成
4. 20. 「国際博物館の日」記念企画展「平成30年度新収蔵資料紹介展」（～5.26）
- 元. 5. 1. 改元（平成から令和へ）
改元記念 出版物特別価格販売（～5.31）
5. 10. 自然史博物館資料収集委員会
5. 19. 博物館ボランティア総会
6. 1. 企画展「世界のタガメ」（～6.30）
第70回全国植樹祭あいち2019 サテライト会場（～6.2）
6. 20. トピック展示「カタツムリ」（～7.31）
7. 2. 豊橋駅東西自由連絡通路に「深海トリックアート」の設置（～8.31）
第1回自然史博物館研究委員会
7. 12. 特別企画展「深海の玉手箱」（～9.1）
新ミュージアムショップ「Museum Shop Rupes（ルーペス）」オープン
7. 20. 企画展「ジオパークを知ろう！」（～9.29）
7. 23. 第1回自然史博物館協議会
7. 26. 博物館実習生受入れ（～8.2）
7. 27. 特別企画展記念講演会「チャレンジャー海淵、なぜ世界最深の海なのか？」
8. 1. トピック展示「セミ」（～9.29）
8. 8. 「夏休みおもしろ実験・観察教室 in しんしろ」出展
8. 21. 園内防火・防災訓練
9. 11. トピック展示「骨を愛でる～のんびいパークの至宝展～」（～10.6）
9. 19. 第2回自然史博物館研究委員会（～9.24）
9. 21. 大型映像「ウォーキング with ダイナソー」他（～1.31）
9. 28. お泊り ZOO（～9.29）
10. 12. 第15回自然史博物館自由研究展（～11.10）、同表彰式
※台風接近のため休館、中止
10. 22. 即位礼正殿の儀
11. 2. 二川地区連携事業「謎解き フタガワ CODE」（～3.15）
11. 16. 企画展「豊橋周辺の植物化石」（～12.15）
11. 17. 名古屋大学出前授業①「ハエが奏でる愛の歌」
11. 24. 名古屋大学出前授業②「モンゴルのフィールドから明らかになった5.5億年前の動物の初期進化」
12. 6. 第34回日本植生史学会大会（～12.8）
12. 10. 第2回自然史博物館協議会
12. 13. 恐竜大掃除
12. 15. 名古屋大学出前授業③「メダカのおスとメスはどうか決まるか」
12. 21. 企画展「子～お正月までいくつ子（ね）る？～」（～1.19）
12. 29. 臨時開館
2. 1. 4. 名古屋芸術大学ミュージアム・コンサート
1. 25. ボルネオ保全プロジェクト企画 阿部雄介写真展「ボルネオの森の昆虫たち」（～2.23）
2. 1. 大型映像「シーレックス」他（～6.20）
2. 8. トピック展示「愛知県から発見された新種の昆虫」（～4.5）
2. 15. 企画展「歯～動物たちも歯が命～」（～3.31）
3. 11. 第3回自然史博物館協議会
※新型コロナウイルス感染症対策のため書類送付による開催
3. 13. 第3回自然史博物館研究委員会
※新型コロナウイルス感染症対策のため書類送付による開催
3. 20. 大型映像「ミュウを探せ！」「ピカチュウの海底大冒険」（～4.6）

2. 教育普及活動

(1) 第34回特別企画展「深海の玉手箱」

開催期間：令和元年7月12日（金）

～9月1日（日）46日間

会場：特別企画展示室（約600㎡）

主催：豊橋市自然史博物館

概要：暗黒で高圧、低温という深海の環境や、そのような特殊な環境に適応したさまざまな生物を紹介した。一方、深海生物の中には食用にされているものも少なくなく、深海の海底に眠る資源は我々にとって有用なものである。深海は意外と身近なものであり、我々にとって関わりのある場所であるということを紹介。

展示点数：304点（うち実物標本250点）



【展示構成】

1. 知られざる深海のふしぎ

深海とは何かや、深海が高圧の世界であるといった基本的なことを紹介。

<主な展示物>

深海に沈めた発泡スチロール製容器、金属バット、3D海底地形図、オオグソクムシ生体。

2. 深海にもぐる

深海に潜航して調査を行う有人潜水調査船やその母船、無人の深海探査ロボットを紹介。

<主な展示物>

「しんかい6500」1/10模型、のぞき窓、浮力材、バラスト、ハッチ口、「よこすか」模型、「うらしま」1/5模型、「ちきゅう」1/150模型。



3. 深海の生きものたち

マッコウクジラ（頭骨）やダイオウイカ（実物大バルーン）、魚類、貝類、甲殻類、その他無脊椎動物の標本、化石、デジタル図鑑により深海に生息する生物を紹介。

<主な展示物>

「のぞきみ水族館」、樹脂封入標本、ダイオウグソクムシ等プラスティネーション標本、リュウグウオキナエビス等貝類、タカアシガニ、ナマハゲフクロウニ等化石、ラブカ等魚類、マッコウクジラ（頭骨）、ダイオウイカ（実物大バルーン）。

4. 体感！深海ワールド

「お絵かき深海アクアリウム」及び「深海生物つりぼり」については「体験コーナー」の項目で後述。

①実物大！深海のなかまたち

実物大に印刷されたバナーにより、深海生物の大きさを体感。

5. 深海のめぐみ

食用にされる深海生物や、深海に眠る金属資源やエネルギー資源など、深海のめぐみを通じて深海と人間との関わりについて紹介。

<主な展示物>

マンガンノジュールなどの鉱物資源、食用にされる深海生物のプラスティネーション標本、深海生物を使用した魚醤などの製品、「深海屋台すし」、深海性魚類等の冷凍標本。

【体験コーナー】

①お絵かき深海アクアリウム

参加費：無料

内 容：自分が描いた深海生物の絵が、スクリーン上を泳ぎだす。



②深海生物つりぼり (博物館ボランティア製作)

参加費：無料

開催日数：18日

参加者数：899人

内 容：磁石を利用して深海生物を釣る、子ども向けの体験コーナー。



【実演コーナー】

①深海の圧力実験

海洋研究開発機構から借用した圧縮装置を用いて、発泡スチロール容器に深海と同様の圧力をかけ、容器が小さくなる様子を観察していただく演示実験を実施した。

開催回数：19回

観覧者数：1,015人



【関連行事】

①特別企画展記念講演会「チャレンジャー海淵、なぜ世界最深の海なのか？」

講 師：道林克禎さん (名古屋大学大学院環境学研究科教授)

期 日：令和元年7月27日 (土)

参加者：95人

内 容：マントルを調べるためになぜ深海を調査するのかや、深海での調査から分かったことについて紹介。



②ワークショップ「チリモン探し体験」

講 師：坂本博一 (当館主幹学芸員)

期 日：令和元年8月2日 (金)

場 所：自然史博物館 講堂

参加者：75人

内 容：シラスに混じって漁獲された小さな生きものを探した。

③ワークショップ「砂の中から微小貝を探そう」

講 師：西 浩孝 (当館学芸員)

期 日：令和元年8月10日 (土)

場 所：自然史博物館 講堂
 参加者：41 人
 内 容：貝殻の入った砂の中から小さな貝を
 探した。

④特別企画展解説会「深海の恵み」
 講 師：西 浩孝（当館学芸員）
 期 日：令和元年 8 月 25 日（日）
 参加者：59 人
 内 容：食用になる深海魚など深海の恵みに
 ついて解説。

⑤マッコウクジラ愛称募集
 特別企画展で展示したマッコウクジラの愛称
 を募集し、その中から 4 点を選考して投票を行
 った結果、「まこりん」に決定した。
 募集期間：令和元年 7 月 28 日（日）～ 8 月 4
 日（日）
 投票期間：令和元年 8 月 10 日（土）～ 15 日
 （木）
 応募点数：609 点



【名古屋芸術大学との連携事業】

①トリックアート制作
 特別企画展をPRするため、名古屋芸術大学の
 櫃田珠実教授指導のもと、メディアコミュニケ
 ーションデザインコースの学生が制作したトリ
 ックアートを豊橋駅に設置した。
 また、特別企画展会場内での撮影スポットと
 して展示を盛り上げるため、別デザインのトリ
 ックアートを会場内に設置した。

豊橋駅設置期間：令和元年 7 月 2 日（火）～ 8
 月 30 日（金）



【事業費】

総事業費 12,549,000 円（予算額）
 11,701,541 円（決算額）

※海の学びミュージアムサポート事業とし
 て、支援を受けて実施しました。

【観覧者数】

有料 8,447 人
 無料 5,379 人
 合計 13,826 人
 (1 日平均 301 人)

月別観覧者数 (人)

月	日数	有料	無料	計
7 月	17 日間	2,229	1,791	4,020
8 月	28 日間	5,763	3,303	9,066
9 月	1 日間	455	285	740
計	46 日間	8,447	5,379	13,826

【観覧料】

大 人 700 円 (560 円※1)
 小中学生 300 円 (240 円※1)
 ※1 30 人以上の団体割引料金

【印刷物】

- ・ポスター B2 カラー (2,400 枚)
- ・広報用チラシ A4 カラー (100,000 枚)
- ・招待券 カラー (2,000 枚)
- ・案内状 (520 枚)

【協力者・協力機関】

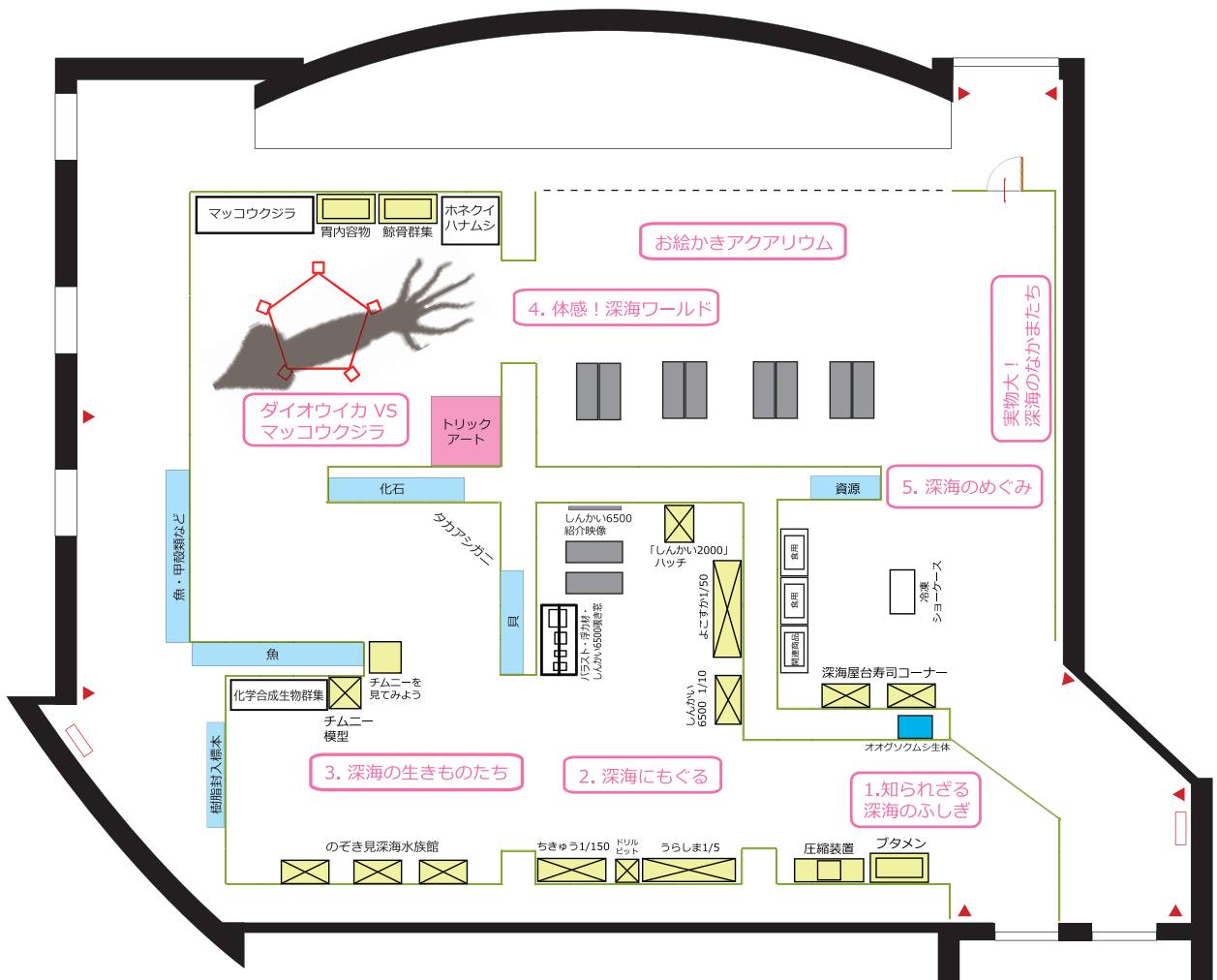
(個人) 氏原 温、梅基昌之、岡村喜明、奥村智次郎、小野輝雄、木村昭一、小池伯一、新谷寿一、高桑 弘、田島木綿子、水野吉昭、道林克禎、山崎芳江、山田 格

(団体) 国立研究開発法人 海洋研究開発機構、船の科学館「海の学びミュージアムサポート」、独立行政法人 国立科学博物館、蒲郡市竹島水族館、大阪市立自然史博物館、田崎物産

深海調査事業 深海倶楽部、三重大学大学院生物資源研究科、名古屋芸術大学、愛知県立三谷水産高等学校、愛知県三河港務所、東海化石研究会、横浜防衛施設局建設部、蒲郡市観光協会、有限会社まんてん、桜丘中学校・高等学校 生物部、愛知県立豊丘高等学校 自然科学同好会、東海大学海洋学部海洋資源学科、豊橋市自然史博物館ボランティア (順不同、敬称略)

【会場図】

自然史博物館 第34回特別企画展「深海の玉手箱」会場図



(2) 企画展

1) 「国際博物館の日」記念 平成30年度 新収蔵資料紹介展

開催期間：平成31年4月20日（土）～令和元年5月26日（日） 33日間

会場：イントロホール

主催：豊橋市自然史博物館

概要：平成30年度に新しく収集した標本の展示や、学芸員が研究に用いた資料などを紹介。

会期中入場者数：132,490人

2) 世界のタガメ

開催期間：令和元年6月1日（土）～30日（日）26日間

会場：イントロホール

主催：豊橋市自然史博物館

概要：6月4日の「虫の日」にちなみ、世界最大・最強の水生昆虫であるタガメを展示。

会期中入場者数：34,367人



3) ジオパークを知ろう！

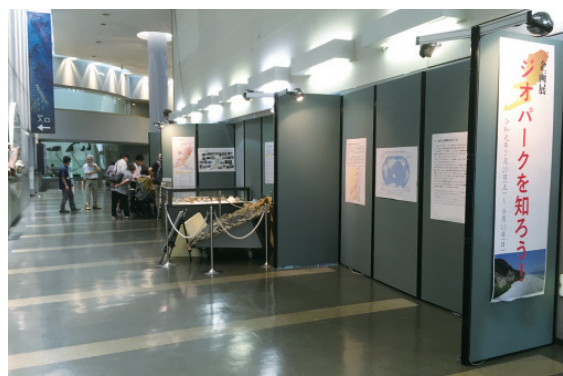
開催期間：令和元年7月20日（土）～9月29日（日）63日間

会場：イントロホール ほか

主催：豊橋市自然史博物館

概要：「ジオパーク」を切り口に、東三河のジオパーク構想についての展示や、構想に携わる博物館や高校生らによるワークショップなどを通じてその魅力を紹介。

会期中入場者数：142,049人



4) 豊橋周辺の植物化石

開催期間：令和元年11月16日（土）～12月15日（日）27日間

会場：イントロホール

主催：豊橋市自然史博物館

概要：当館が所蔵する「黒田啓介コレクション」を中心に、豊橋周辺の第四紀の植物化石の展示や、クリーニング作業の様子などを紹介。

会期中入場者数：39,472人



5) 子～お正月までいくつ子（ね）る？～

開催期間：令和元年12月21日（土）～令和2年1月19日（日）24日間

会場：イントロホール

主催：豊橋市自然史博物館

共催：浜松市博物館

概要：令和2年の干支の動物「ネズミ」に因んだ生物や民俗資料などを展示。

会期中入場者数：58,942人

**6) ボルネオ保全プロジェクト企画 阿部雄介
写真展「ボルネオの森の昆虫たち」**

開催期間：令和2年1月25日（土）～2月23日（火）26日間

会場：イントロホール

主催：豊橋市自然史博物館

概要：フォトグラファー阿部雄介氏の昆虫写真と、博物館が所蔵する昆虫標本とのコラボ展示をとおり、ボルネオの生物多様性について紹介。

会期中入場者数：40,676人



7) 歯～動物たちも歯が命～

開催期間：令和2年2月15日（土）～3月31日（火）41日間

会場：イントロホール

主催：豊橋市自然史博物館

概要：様々な動物たちの歯を展示し、歯の形とその役割の関係を紹介。

会期中入場者数：77,348人



(3) トピック展示

1) 総合動植物公園内で見られるカタツムリ

開催期間：令和元年6月20日（木）～7月31日（水）36日間

会場：ミュージアムショップ横

概要：「園内いきものガイド」で紹介しているカタツムリの実物を紹介と「園内生き物ガイド」の配布。

会期中入場者数：42,222人

2) 総合動植物公園内で見られるセミ

開催期間：令和元年8月1日（木）～9月29日（日）53日間

会場：イントロホール

概要：「園内いきものガイド」で紹介しているセミの実物を紹介と「園内生き物ガイド」の配布。

会期中入場者数：125,710人

3) 骨を愛でる～のんほいパークの至宝展～

開催期間：令和元年9月11日（水）～10月6日（日）23日間

会場：郷土の自然展示室出口廊下

概要：のんほいパークが所蔵する骨格標本の中から6種のへびの骨格標本を展示。

会期中入場者数：54,386人

4) 愛知県から発見された新種の昆虫

開催期間：令和2年2月8日（土）～3月31日（火）48日間

会場：ミュージアムショップ横

概要：豊明市から発見され、令和元年12月に新種記載された昆虫「オワリシリブトヨツメハネカクシ」を展示。

会期中入場者数：91,505人

(4) 大型映像

1) 上映状況

①平成31年4月1日～令和元年6月23日

【通常上映】

「スカイズ～大空を飛ぶ生きものたち～」

3D・2D作品 (35分)

「新・恐竜大進撃」2D作品 (35分)

【期間限定上映】

「かいけつゾロリ ZZのひみつ」

2D作品 (30分) (4/1～4/7)

【観覧料】

上映作品	大人(円)	小人(円)
スカイズ 3D版	700 (560)	300 (240)
スカイズ 2D版	500 (400)	200 (160)
新・恐竜大進撃	500 (400)	200 (160)
かいけつゾロリ ZZ のひみつ	400 (320)	200 (160)

②令和元年9月21日～令和2年1月31日

【通常上映】

「ウォーキング with ダイナソー」

3D・2D作品 (43分)

「生命大躍進」2D作品 (35分)

【期間限定上映】

「ピカチュウのキラキラだいそうさく」

2D作品 (22分) (12/21～1/5)

【観覧料】

上映作品	大人(円)	小人(円)
ウォーキング with ダイ ナソー 3D版	700 (560)	300 (240)
ウォーキング with ダイ ナソー 2D版	500 (400)	200 (160)
生命大躍進	400 (320)	200 (160)
ピカチュウのキラキラ だいそうさく	300 (240)	100 (80)

③令和2年2月1日～3月31日

【通常上映】

「シーレックス」

3D・2D作品 (40分) (2/1～3/31)

「フライングモンスター」

3D作品 (40分) (2/1～3/19)

「星にかたる恐竜」

2D作品 (29分) (3/20～3/31)

【期間限定上映】

「ポケモン3Dアドベンチャー『ミューを探

せ』『ピカチュウの海底大冒険』

3D作品 (27分) (3/20～3/31)

【観覧料】

上映作品	大人(円)	小人(円)
シーレックス 3D版	700 (560)	300 (240)
シーレックス 2D版	500 (400)	200 (160)
フライングモンスター	700 (560)	300 (240)
星にかたる恐竜	500 (400)	200 (160)
ポケモン3Dアドベン チャー	500 (400)	200 (160)

※各表の()内は30人以上の団体料金など

2) 関連イベント

①中生代スタンプラリー

期間：令和元年9月21日～令和2年3月31日

内容：大型映像後期番組(9/21～)では、中生代の陸、海、空の生物をテーマとする番組編成を行い、関連する4作品の観覧者を対象に、スタンプラリーを開催。陸(「ウォーキング with ダイナソー」、「星をかたる恐竜」)、海(「シーレックス」)、空(「フライングモンスター」)の3種のスタンプをそろえた観覧者に景品を贈呈した。

- ②レッサーパンダ公開記念特別プレゼント
 期日：令和2年2月8日、9日
 内容：観覧者全員に「イルカ消しゴム」贈呈

- ③3月はまるごと「キャンパスDAY」
 期間：令和2年3月1日～31日
 内容：期間中、大学生（大学院生）、短大生、
 各種専門学生、高校生の観覧料無料

3) 大型映像特別割引／無料開放

- ①即位礼正殿の儀に伴う慶祝事業
 天皇陛下の即位礼正殿の儀に伴う慶祝事業の一つとして大型映像観覧料を無料とした。
 期 日：令和元年10月22日
 観覧者：1,697名

- ②冬季特別割引
 期間：令和元年12月1日～令和2年1月31日
 内容：期間中、全上映番組の大人料金を小人と同額に割引。

4) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の取り組み

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、防止策として、下記の取り組みを行った。

- ・密集を避けるため観覧席を1列おきに閉鎖
- ・各回の定員を100名（通常300名）
- ・アルコール消毒の徹底
- ・会場の換気

期間：令和2年3月1日～31日

令和元年度大型映像観覧者数（上映回数は1,188回）

区分	上映(開場)日数	観覧者数(人)	会期中入館者数(人)※1	観覧率	年間優待券(購入)(円)※2	観覧料(円)	
4/1～6/23 スカイズ 他2作品	4月	27日間	6,780	73,103	9.3%	102,000	1,539,840
	5月	28日間	5,949	93,864	6.3%	87,000	1,496,080
	6月	20日間	2,255	31,398	7.2%	44,500	564,000
【大型映像前期】小計	75日間	14,984	198,365	7.6%	233,500	3,599,920	
9/21～1/31 ウォーキング with ダイナソー 他2作品	9月	8日間	2,324	23,600	9.8%	120,500	594,800
	10月	26日間	5,584	53,572	10.4%	174,500	916,240
	11月	27日間	3,981	56,519	7.0%	159,000	1,064,000
	12月	23日間	3,960	33,888	11.7%	9,000	448,100
	1月	26日間	6,243	47,645	13.1%	25,500	778,600
2/1～3/31 シーレックス 他3作品	2月	25日間	6,438	43,552	14.8%	451,500	1,817,940
	3月	28日間	5,024	55,996	9.0%	139,000	1,063,300
【大型映像後期】小計	163日間	33,554	314,772	10.7%	1,079,000	6,682,980	
計	238日間	48,538	513,137	9.5%	1,312,500	10,282,900	

※1 上映していない期間を除く

※2 6/25～7/11の年間優待券の売上は7月の特別企画展の売上を含む

(5) 東三河ジオパーク構想事業

東三河には多くの特徴的な地形、地質が存在する。自然史博物館では、これらを保全・保護し、観光資源として生かす「ジオパーク」の認定を目指す活動に取り組んでいる。

令和元年度には、新城市に事務局を置く「東三河ジオパーク構想推進準備会」を軸に、東三河8市町村と連携して、シンポジウムやジオツアーを開催した。また、認定ジオガイドによる任意団体の設立を見据えた運営委員会を発足し、ジオガイドを対象とした研修を開催した。

博物館独自の取り組みとしては、教育普及事業の一環としてジオツアーを3回（うち1回中止）開催し、推進準備会の一員として、認定に向けた情報収集、情報発信等に取り組んだ。

1) ジオツアーの開催

新たなジオサイトの開発や新規顧客の獲得を目的としたジオツアーを令和元年度は2回開催し、38人が参加した。3回目は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった。

ジオツアー①「豊川の石はどこから」

講師：加藤千茶子（当館主任学芸員）・松岡敬二（当館館長）

期 日：令和元年7月13日（土）

場 所：新城市、設楽町ほか

参加者：18人

内 容：身近な河川である豊川に集まる石のルーツを探る。

ジオツアー②「地質と植物」

講師：吉川博章（当館主任学芸員）・松岡敬二（当館館長）

期 日：令和2年2月23日（土）

場 所：田原市

参加者：20人

内 容：私たちが住んでいる地面の下の地質と植物の関係を探る。



ジオツアー③「東三河の土台！秩父帯の岩石をみる！」※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

期 日：令和2年3月28日（土）

場 所：豊橋市

内 容：1億年前の東三河の姿を、弓張山地と渥美半島から解き明かす。

2) ジオパーク認定に向けた情報収集・発信等

東三河ジオパーク構想推進準備会は、日本ジオパークネットワークの準会員として、全国大会や研修会、中部ブロック大会等への出席や情報発信、ジオパークの認定申請などの継続的な情報収集を行っている。

令和元年度には、昨年度末に誕生した認定ジオガイドに対し、博物館主催のジオツアーに伴う研修や、ジオガイド主催の地区別研修、事務局主催の全体研修などのフォローアップ研修を行った。

①ユネスコ世界ジオパーク推薦および新規日本ジオパーク認定プレゼンテーション

期 日：令和元年5月25日（土）

場 所：千葉県千葉市

参加職員：仲井慎治、加藤千茶子

②第10回日本ジオパーク全国大会 2019 おおいの大会

期 日：令和元年11月2日（土）～4日（月）

場 所：大分県大分市・豊後大野市

参加職員：加藤千茶子

③第10回日本ジオパークネットワーク全国研修会

期 日：令和元年10月11日（木）～14日（日）

場 所：新潟県糸魚川市

※台風接近のため中止

④第6回日本ジオパークネットワーク中部ブロック大会

期 日：令和元年11月22日（金）～24日（日）

場 所：新潟県佐渡市

参加職員：加藤千茶子

3) 東三河ジオパーク構想推進準備会

第1回

期 日：令和元年5月24日（金）

場 所：東三河総局

参加委員：仲井慎治

第2回

期 日：令和2年3月26日（木）

場 所：東三河総局

参加委員：仲井慎治、加藤千茶子

4) ジオ専門部会

第1回

期 日：令和元年8月2日（金）

場 所：豊橋市役所

参加委員：加藤千茶子

第2回

期 日：令和元年9月6日（金）

場 所：東栄町東栄グリーンハウス

参加委員：加藤千茶子

第3回

期 日：令和元年10月25日（金）

場 所：東栄町東栄グリーンハウス

参加委員：加藤千茶子

第4回

期 日：令和元年11月27日（水）

場 所：新城市鳳来寺山自然科学博物館

参加委員：加藤千茶子

第5回

期 日：令和元年12月25日（水）

場 所：豊川市役所音羽庁舎

参加委員：加藤千茶子

第6回

期 日：令和2年2月19日（水）

場 所：豊川市役所音羽庁舎

参加委員：加藤千茶子

第7回

期 日：令和2年3月18日（水）

場 所：豊橋市役所

参加委員：加藤千茶子

4) ジオガイド運営委員会

開催期日：令和元年5月2日、6月5日、7月3日、8月21日、9月19日、10月24日、11月19日、12月19日、令和2年1月23日、2月13日、3月12日

開催場所：新城市鳳来寺山自然科学博物館

参加職員：加藤千茶子

(6) ワークショップ・展示解説会など

地学や生物学などの自然科学に親しみ基本的な知識が得られる入門講座として、開館時から毎年開催している。令和元年度は、講演会、ワークショップ、解説会、収蔵庫見学会に加え、名古屋大学出前授業と、企画展「ジオパークを知ろう！」の関連ワークショップを開催した。

※内容は別途掲載（p.9）

1) 講演会

①「タネ化石から豊橋の過去をさぐる」

講 師：吉川博章（当館主任学芸員）

期 日：令和元年6月9日（日）

場 所：自然史博物館 講堂

参加者：27人

内 容：豊橋で見つかる数十万年前のタネや
実の化石を学んだ。



2) ワークショップ

①「潮干狩りで生きものを探そう」

講 師：西 浩孝（当館学芸員）

期 日：令和元年5月18日（土）

場 所：前芝海岸

参加者：45人

内 容：干潟で見られる貝類やカニ類を観察
し、干潟の生態系を学んだ。

②「外来魚調査隊」

講 師：坂本博一（当館主幹学芸員）

期 日：令和元年7月24日（水）

場 所：向山大池

参加者：57人

内 容：ため池で外来魚調査を行い、見分け
方や問題点について学んだ。



③「ティラノサウルスの歯を作ろう！」

講 師：安井謙介（当館主任学芸員）

期 日：令和元年8月12日（月・休）、13日（火）

場 所：自然史博物館 学習室1

参加者：各日、13人、13人、計26人

内 容：ティラノサウルスの歯のレプリカを
作製した。



④「小さな鉱物を探してみよう」

講 師：加藤千茶子（当館主任学芸員）

期 日：令和元年8月17日（土）

場 所：自然史博物館 学習室1

参加者：26人

内 容：砂レキ中の鉱物を取り出し、実験等
を交えつつその特徴を探った。



3) 解説会

学芸員がそれぞれの専門分野について、博物館内で行う解説会。申込不要で参加無料。令和元年度は11回開催し、502人が参加した。

①「隕石をみてみよう」

講 師：加藤千茶子（当館主任学芸員）
期 日：平成31年4月14日（日）
場 所：自然史博物館
参加者：20人
内 容：隕石や、その衝突の衝撃を示す石について紹介。

②「カタツムリのひみつ」

講 師：西 浩孝（当館学芸員）
期 日：令和元年6月15日（土）
場 所：自然史博物館
参加者：38人
内 容：カタツムリの面白い生態や行動を紹介。



③「蚊の口はどうなっている？」

講 師：長谷川道明（当館学芸専門員）
期 日：令和元年6月23日（日）、7月7日（日）
場 所：自然史博物館 学習準備室
参加者：各日、18人、20人、計38人
内 容：蚊はどうやって血を吸うのかを電子顕微鏡で観察。

④「ジオパークの化石大紹介」

講 師：一田昌宏（当館学芸員）

期 日：令和元年7月28日（日）

場 所：自然史博物館

参加者：72人

内 容：日本にあるジオパークで、目玉となっている化石を紹介。



⑤「ジオパークの『石』紹介します」

講 師：加藤千茶子（当館主任学芸員）
期 日：令和元年8月24日（土）
場 所：自然史博物館
参加者：32人
内 容：日本にあるジオパークで、目玉となっている「石」を紹介。

⑥「スズメバチの巣を解体してみよう」

講 師：長谷川道明（当館学芸専門員）
期 日：令和元年9月29日（日）、10月13日（日）
場 所：自然史博物館
参加者：各日、60人、80人、計140人
内 容：スズメバチの巣を解体して巣のしくみを観察。

⑦「豊橋周辺の植物化石」

講 師：吉川博章（当館主任学芸員）
期 日：令和元年11月24日（日）
場 所：自然史博物館
参加者：63人
内 容：故・黒田啓介氏から寄贈された植物化石を紹介。



- ⑧「動物たちも歯が命！」
 講師：安井謙介（当館主任学芸員）
 期 日：令和2年2月29日（土）
 場 所：自然史博物館
 参加者：20人
 内 容：動物の歯の形と機能について解説。

- ⑨「シロアリを操ろう」
 講師：長谷川道明（当館学芸専門員）
 期 日：令和2年3月22日（日）
 場 所：自然史博物館
 参加者：79人
 内 容：シロアリの道しるべフェロモンについての実験に挑戦。



4) 収蔵庫見学会

収蔵庫に保管されている博物館資料についてテーマ別に担当学芸員が案内。令和元年度は6回開催し、169人が参加した。

- ①「化石その1」
 講師：吉川博章（当館主任学芸員）
 期 日：令和元年9月14日（土）

参加者：18人

- ②「骨格標本」
 講師：安井謙介（当館主任学芸員）
 期 日：令和元年9月21日（土）
 参加者：12人

- ③「化石その2」
 講師：一田昌宏（当館学芸員）
 期 日：令和元年11月3日（日・祝）
 参加者：69人

- ④「貝類」
 講師：西 浩孝（当館学芸員）
 期 日：令和元年12月14日（土）
 参加者：5人



- ⑤「岩石・鉱物標本」
 講師：加藤千茶子（当館主任学芸員）
 期 日：令和2年1月18日（土）
 参加者：30人

- ⑥「魚類」
 講師：坂本博一（当館主幹学芸員）
 期 日：令和2年2月22日（土）
 参加者：35人

- ⑦「昆虫」
 期 日：令和2年3月8日（日）
 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため
 中止

5) 名古屋大学出前授業 in 豊橋 2019

平成 26 年度からあいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク事業として、名古屋大学が取り組む第一線研究について紹介するサイエンス・トーク「名古屋大学出前授業 in 豊橋」を開催している。令和元年度は 3 回開催し、197 人が受講した。

①「ハエが奏でる愛の歌」

講 師：上川内あづささん（名古屋大学大学院理学研究科教授）

期 日：令和元年 11 月 17 日（日）

場 所：自然史博物館 講堂

参加者：43 人

内 容：オスがメスのために発する音を、ハエの脳がどのように理解するのか、そのしくみを紹介。



②「モンゴルのフィールドワークから明らかになった 5.5 億年前の動物の初期進化」

講 師：大路樹生さん（名古屋大学博物館教授）

期 日：令和元年 11 月 24 日（日）

場 所：自然史博物館 講堂

参加者：72 人

内 容：カンブリア爆発について、モンゴルでの調査と最新の研究成果を紹介。

③「メダカのおスとメスはどうか決まるか」

講 師：田中 実さん（名古屋大学大学院理学研究科教授）

期 日：令和元年 12 月 15 日（日）

場 所：自然史博物館 講堂

参加者：82 人

内 容：メスあるいはオスのどちらか一方に必ずなる巧妙な仕組み、身体をメスにしたがる細胞について紹介。



6) 企画展「ジオパークを知ろう！」関連ワークショップ

企画展会場に特設ブースを設け、東三河でジオパーク構想の活動を推進している、他市の博物館や地元の高校生、自然史博物館ボランティアなどによるワークショップを 17 回開催し、599 人が参加した。

①「ゲームをするなら GEO（ジオ）！」

講 師：愛知県立豊橋東高等学校 GLOBE 部所属生徒

期 日：令和元年 7 月 20 日（土）、27 日（土）、8 月 10 日（土）、9 月 7 日（土）

参加者：各日 40 人、15 人、33 人、33 人、計 121 人

内 容：GEO（ジオ）をネタにしたカードゲームや、陣とりゲームを開催した。



②「豊川の石を調べてみよう！」

講師：新城市鳳来寺山自然科学博物館

期 日：令和元年7月30日（火）、8月9日（金）

参加者：各日64人、50人、計114人

内 容：豊川流域の石を実際に手に取って、その特徴を学ぶ。



③「ジオかるた会」

講師：豊橋市自然史博物館ボランティア

期 日：令和元年8月3日（土）、17日（土）、24日（土）、31日（土）、9月14日（土）、21日（土）、28日（土）

参加者：各日、25人、26人、33人、21人、42人、34人、36人、計217人

内 容：東三河の地質や地形、ジオサイト候補地などの見どころを、カルタを使って紹介。



④「シェルマ吉胡 ワークショップ」

講師：田原市博物館

期 日：令和元年8月22日（木）、23日（金）

参加者：各日、36人、23人、計59人

内 容：貝塚で見つかる貝などを使ったアク

セサリーづくりなどを行った。



⑤「Google Earth で見る東三河のジオ」

講師：蒲郡市生命の海科学館

期 日：令和元年8月29日（木）、30日（金）

参加者：各日64人、50人、計114人

内 容：東三河の地質と地形、そしてジオサイト候補地を、Google Earthを使って空から仮想体験。



(7) 総合動植物公園関連イベント

1) ナイトZOO

①ナイトミュージアム

のんほいパークのナイトZOOの開催に合わせて、夜間開館を行った。常設展の照明を一部落とし、昼間と異なる雰囲気を楽しめるようにした。

開催期間：8月3～4日、10～18日、24～25日、31日、9月1日、7～8日、14～16日、21～23日、28～29日（8月15日は雨天のため中止）

開館時間：日中 午前8時～午後3時30分

ナイトZOO 午後5時～午後9時

※先行入園の方は午後4時30分～

②特別企画展「深海の玉手箱」

ナイトZOOでは特別企画展をお得な料金で観覧できるようにした。

観覧料：大人 400 円、小人 100 円

ナイトZOO期間中の特別企画展観覧者（人）

	大人	小・中学生	無料	計
8月	1,397	626	321	2,344
9月	94	32	21	147
計	1,491	658	342	2,491

③大型映像

ナイトZOOでは大型映像をお得な料金で観覧できるようにした。

観覧料：「ウォーキング with ダイナソー」

大人 300 円、小人 100 円

「生命大躍進」

大人 300 円、小人 100 円

ナイトZOO期間中の大型映像観覧者（人）

	大人	小人	無料	計
観覧者	221	112	64	397

2) お泊りZOO

期 日：令和元年9月28日（土）～29日（日）

主 催：豊橋おやじの会

参加者：50人

内 容：ナイトZOO参加後、自然史博物館で宿泊体験し、翌朝、「動物の餌やり」を見学した。

(8) 第15回自然史博物館自由研究展

生物や地学をテーマにした市内の小・中学生の優れた自由研究作品を表彰・展示するため、平成17年度より開催している。出品作品については、各小・中学校の協力のもと、児童・生徒が夏休みの課題として提出したものから選考した。表彰式にあわせて最優秀賞の受賞者による発表会を開催した。

開催期間：令和元年10月12日（土）～11月10日（日）

表彰式・優秀作品発表会：令和元年10月12日（土）13:00 ※台風により中止

会 場：イントロホール、自然史スクエア他
応募総数：217点（小学校52校155点、中学校23校62点）

※市内小中学校各校から3点以内を選抜して応募。ただし小学校24クラス以上、中学校18クラス以上の場合は4作品以内とした。



<入賞作品>

○最優秀賞

【小学生】

二川南小学校 6年 石川春果

「植物の発根の観察実験 PART4 シロツメクサの花と発根の関係」

【中学生】

東陽中学校 3年 岩田くるみ

「雑草なんて言わせない!! 本当はすごい! たんぽぽ Part3」

○優秀賞

【小学生】

植田小学校 6年 石田奈都

「われら土の中のちっちゃいものクラブ」

多米小学校 6年 伊奈もも香

「セミの抜けガラ・鳴き声調査 2019 <第3弾>
2匹のニイニイゼミの羽化観察～アクシデン
トにも負けない！すごい適応能力を見た～」

【中学生】

豊城中学校 1年 中野千乃

「メダカの体色はいつはっきりするのか？～不
明色のメダカが青メダカであることを証明し
たい～」

青陵中学校 3年 杉本 翼

「ゲンジボタルの見られる場所見つけたパー
ト6 放流の必要性和改善方法について」

○奨励賞

【小学生】

東田小学校 6年 森田 圭

「豊橋東部の弓張山地の地質と水質」

花田小学校 6年 市川ひとみ

「アリの研究 Part5」

磯辺小学校 6年 伊奈稜一郎

「続・ニホンイシガメの生態～卵をかえすぞ
part2～」

【中学生】

東陽中学校 2年 佐藤麗桜

「ウチのウズラの鳴き声問題を解決したい！」

東陽中学校 1年 小林伸輝

「根と葉について3」

中部中学校 2年 石川琳子

「カメのしている世界 part3」

本郷中学校 2年 平川奨真

「設楽ダムが完成すればかすみ堤はなくなるの
か？」

前芝中学校 1年 北河拓真

「表浜海岸の生き物図鑑と標本」

○入選

【小学生】

新川小学校 4年 黒田知花

「ツバメのえさやり観察日記」

牟呂小学校 4年 大倉凜

「豊川の浅せや水たまりにいる生物（2年目）」

高師小学校 5年 太田篤志

「なぜカブトムシはとんできた？」

芦原小学校 5年 加藤漣人

「加藤家、庭の雑草 絶滅大作戦2019」

芦原小学校 6年 中村光里

「日本一になったトマト栽培の技術を徹底研
究！6年目のアサガオ研究の経過報告」

中野小学校 6年 内藤悠斗

「根や葉の働き方大研究 パート4」

つつじが丘小学校 6年 大道十楼

「今までに多くの人が試みてきた”切り花を長
持ちさせる方法”について 新たな答えを見
つけることを目的にこの夏、あえて挑戦して
みた！」

大清水小学校 6年 羽田野夏向

「石巻山虫調べ～虫の分布と習性の関係～」

石巻小学校 5年 小林優花

「なぜパンはカビたのか？」

【中学生】

豊岡中学校 1年 菅わかな

「どんな野菜も調理次第！」

東部中学校 2年 林かこ

「私のお弁当はいつまで食べられるの？～細菌
が増殖しやすい環境と増殖する速度に関する
研究～」

牟呂中学校 3年 築旺佑

「東三河近郊における『ハルゼミ属』の絶滅の
可能性」

高師台中学校 3年 間瀬優芽

「スイカの秘密 part4 (皮 version)」

南稜中学校 2年 石田小都

「植田町にある地層の調査」

石巻中学校 1年 白井菜々

「尿の不思議パート2」

(9) 自由研究相談

開催期間：夏休み期間

内 容：事前申込みを受けた小・中学生を対象に担当分野の学芸員が自由研究のテーマや方法について指導。

参加者：33件79人

(内訳)

分野	件数	人数
化石	10	25
昆虫	4	8
貝類	7	13
魚類	1	2
脊椎動物	4	13
その他	4	10
未定	3	8
計	33	79

(10) 市民からの質問等対応

自然史博物館では、来館、電話、手紙、メールによる市民からの質問等について学芸員が対応している。令和元年度の内訳は以下のとおり。

分野	件数	備考
化石	13	
岩石	8	
昆虫	1	
貝類	15	
魚類	1	
脊椎動物	11	
植物	2	
その他	7	甲殻類、クモ、しんかい6500、ハオリムシ、系統樹、リュウゼツラン
計	58	

(11) 小中高等学校等の学習支援

1) 標本貸出セット

自然史博物館では、平成16年度より「標本貸出セット」を整備し、学校等への貸出を行っている。内容は、以下の5つで、それぞれラベルや解説などの資料も添付している。館外貸出は原則、市内小中学校とし、館内での利用は子どもを主体とする1クラス程度までの団体としている。また、学芸員が行う出前授業などにも積極的に利用している。本年度の館外貸出は8団体914人、館内利用は1団体114人であった。

化石：古生代から新生代の化石（10セット）、化石レプリカ製作用型4種（20セット）

脊椎動物：肉食と草食動物の頭骨標本3種（10セット）、ネコ全身骨格標本（1セット）

ドングリ：ブナ科植物6種のさく葉および堅果標本

昆虫：昆虫標本3種（5セット）、国語の教科書に登場する昆虫（3セット）

岩石：東三河地域の堆積岩10種（10セット）、豊川流域の岩石10種（5セット）

館外貸出

期間	利用者	内容	人数
5/12～19	富士見小学校	「自然のかくし絵」コノハチョウ擬態標本1、昆虫擬態写真パネル5	75
6/3～10	福岡小学校	昆虫標本（3種）5	106
9/20～27	松葉小学校	ネコの全身骨格標本1	83
9/28～10/12	豊川市立代田中学校	脊椎動物（ハト骨格標本3、羽毛標本1、鳥類骨格断面1）、化石（恐竜の骨8）	123
10/1～8	高師台中学校	ネコ・ウサギ頭骨標本13、ネコ全身骨格標本1	216
10/17	杉山小学校	東三河地域の堆積岩類（10種）10、豊川流域の岩石類（10種）5	65
11/7	岩西小学校	東三河地域の堆積岩類（10種）6	90
11/15～27	岩田小学校	古生代から新生代の化石（化石セット）8	156

館内利用（出前授業など学芸員が館外で解説に使用したものを含む）

期日	利用者	内容	人数
7/30、8/9	ジオワークショップ	豊川流域の岩石類（10種）1（64+50名）	114

2) 職場体験学習等

中学校2年生を対象に行われる職場体験学習として14校から14人を受入れた。博物館の業務概要の説明、施設等を見学した後、各学芸員が博物館資料の整理、展示作業、教育普及活動、印刷物の発送などの作業を体験させている。

また、特別企画展会期中のボランティア体験、実習活動として桜丘学園（中・高）生物部50人、愛知県立豊丘高校自然科学同好会25人を受入れた。

期間	学校名	人数
6/4～6/7	豊橋市立二川中学校	1
6/5～6/7	豊川市立南部中学校	1
6/5～6/7	豊橋市立五並中学校	1
8/28～8/30	豊橋市立北部中学校	1
9/18～9/20	豊橋市立高師台中学校	1
10/8～10/10	豊橋市立中部中学校	1
10/29～11/1	豊橋市立南部中学校	1
11/6～11/8	豊橋市立羽田中学校	1
11/12～11/14	豊橋市立東陽中学校	1
11/12～11/14	豊橋市立高豊中学校	1
11/12～11/14	豊橋市立本郷中学校	1
12/3～12/6	豊橋市立東部中学校	1
12/3～12/6	豊橋市立南稜中学校	1
12/3～12/6	豊橋市立吉田方中学校	1
7/19～9/1	桜丘学園（中・高）生物部	50
7/19～9/1	愛知県立豊丘高校自然科学同好会	25
計		16校 89人

3) わくわく体験活動

市内の小・中学校が、教育委員会の計画に基づいて行っている学習（小学校4年生対象）の一環で、当館の見学が選択として取り入れられている。見学にあたっては、各学校で計画をたて、学習の観点をもって実施している。常設展見学のほか、希望により大型映像、特別企画展の観覧、収蔵庫・標本処理室等の学芸員による案内も行っている。本年度は参加希望校が無かった。

4) 高等学校・大学の学習利用

①東海学園高等学校

期 日：平成31年4月4日（木）
利用者：教員12人
内 容：展示解説、博物館見学

②愛知教育大学

期 日：令和元年7月6日（土）
利用者：学生・教員7人
内 容：展示解説、博物館見学

③愛知県高等学校文化連盟自然科学専門部

期 日：令和元年7月31日（水）
利用者：生徒・教員・役員81人
内 容：講義、博物館見学

④岐阜県立多治見北高等学校

期 日：平成28年8月4日（日）
利用者：1年生及び2年生42人
内 容：講義、汐川干潟野外実習

⑤名古屋市立向陽高等学校及び名古屋市立高等学校

期 日：令和元年8月22日（木）
利用者：生徒・教員20人
内 容：脊椎動物の骨格に関する講義、博物館見学

⑥専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー

期 日：令和元年11月7日（木）、14日（木）
利用者：動物海洋飼育・アクアリウム科1年、生徒・引率42人（各日21人）
内 容：博物館の見学、骨格標本、進化に関する講義

⑦専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー

期 日：令和2年1月8日（水）
利用者：動物看護師科3年、生徒・引率13人
内 容：博物館の見学、骨格標本、進化に関する講義

5) 校外学習等

社会見学・理科学習等の校外学習を受入れ、各校の依頼に応じて講義や実習を行った。

①豊橋市立二川中学校・地域文化体験講座

期 日：令和元年9月14日（土）
内 容：微化石実習、博物館見学
参加者：20人

②豊橋市立西郷小学校・賀茂小学校・合同授業

期 日：令和元年9月20日（金）
内 容：豊橋の地層と化石についての講義
参加者：36人

6) 授業・学習支援センターへの協力

子どもたちの調べ学習や教師の授業づくりをサポートするために市教育委員会学校教育課が設置している「授業・学習支援センター」の活動に協力した。自然史博物館内にも、自然科学関連の書籍が充実した図書コーナー「山福文庫」が設置されている。配架図書の選定、利用促進、運営については図書館研究部、理科研究部、学校図書館指導員、当館事務長らによる推進委員会で協議した。

(12) 博物館実習生等の受入れ

1) 令和元年度博物館実習

①実習生 (7人)

岩本真奈さん (東京農業大学)
酒向健介さん (中部大学)
今泉彩華さん (南九州大学)
若杉 準さん (東京海洋大学)
澤井愛佳さん (愛知学泉大学)
河内慶太さん (愛知大学)
二川 和さん (岡山理科大学)

②実習内容・日程

期日	内容
7/26	オリエンテーション、特別企画展展示概略、博物館展示概論、博物館資料保存概論
7/27	博物館ボランティア活動概略、ガイドツアー見学、来館者動線調査準備
7/28	展示解説会(化石)準備・補助、来館者動線調査
7/30	化石資料実習
7/31	貝類資料実習、昆虫資料実習、脊椎動物資料実習
8/1	脊椎動物資料実習、岩石鉱物資料実習、来館者動線調査まとめ、発表
8/2	ワークショップ(魚類)準備・補助、実習まとめ

2) 大学の博物館学関連実習等

①名城大学農学部

期 日：令和元年8月6日(火)
内 容：博物館見学実習
参加者：学生・教員55人

②東海大学海洋学部

期 日：令和元年10月31日(木)
内 容：博物館見学研修
参加者：学生・教員15人

(13) 研修等の受入れ

1) 現職教員の研修等

①氏 名：杉浦 徹さん

所 属：豊川市立一宮中学校
内 容：社会教育活動体験
期 日：令和元年7月30日(火)

②氏 名：齋藤 優さん

所 属：豊橋市立東部中学校
内 容：社会体験研修
期 日：令和元年8月1日(木)、2日(金)

③氏 名：雪山 大さん

所 属：豊橋市立石巻中学校
内 容：社会体験研修
期 日：令和元年8月7日(水)、8日(木)

④氏 名：石川遥菜さん

所 属：愛知県立豊橋特別支援学校
内 容：社会奉仕体験活動研修
期 日：令和元年8月8日(木)、9日(金)

⑤氏 名：浦野秀美さん

所 属：愛知県立豊川特別支援学校
内 容：社会体験研修
期 間：令和元年8月10日(土)、11日(日)

2) インターンシップ

①氏 名：松芝 遼さん

所 属：名古屋経済大学法学部2年
期 間：令和元年8月4日(日)～10日(土)

②氏 名：寺本真由子さん

所 属：静岡大学農学部3年
期 間：令和元年8月11日(日)～16日(金)

③氏 名：横山明生さん

所 属：宇都宮大学農学部3年
期 間：令和元年8月17日(土)～22日(木)

④氏 名：松下真子さん
 所 属：豊橋創造大学短期大学部 1 年
 期 間：令和元年 8 月 25 日 (日) ～ 30 日 (金)

⑤氏 名：仲村実紅さん
 所 属：愛知大学文学部 3 年
 期 間：令和元年 9 月 1 日 (日) ～ 6 日 (金)

⑥氏 名：四方佑樹さん
 所 属：愛知工業大学経営学部 1 年
 期 間：令和元年 9 月 7 日 (土) ～ 12 日 (木)

⑦氏 名：阿部美黎さん
 所 属：名城大学法学部 3 年生
 期 間：令和 2 年 2 月 18 日 (火) ～ 20 日 (木)

3) 教員研修等

①東三河教育事務所管内小中学校校長会
 期 日：平成 31 年 4 月 9 日 (火)
 参加者：190 人

②小学校生活科研究部研究大会
 期 日：令和元年 12 月 18 日 (水)
 参加者：75 人
 内 容：市内小学校生活科研究部員による研究協議

4) その他

①豊田市教育委員会文化財課博学連携準備委員会
 期 日：令和元年 8 月 22 日 (木)
 参加者：43 人
 内 容：学校連携について

②三河材の普及を目的とした木育プロジェクト
 期 日：令和元年 10 月 17 日 (木)
 参加者：2 人
 内 容：恐竜・動物の三河材活用

③豊田市自然観察の森
 期 日：令和元年 10 月 27 日 (日)
 参加者：6 人
 内 容：博物館のバックヤード見学

④ドイツ及びドイツホストタウン自治体の中学生交流事業
 期 日：令和元年 11 月 13 日 (日)
 参加者：30 人
 内 容：SDGs の取組み紹介

⑤独立行政法人国立科学博物館
 期 日：令和元年 11 月 22 日 (金)
 参加者：4 人 (フィリピン国立博物館関係者ほか)
 内 容：常設展などの見学

(14) 出版活動

令和元年度に自然史博物館が刊行した出版物は以下のとおりである。

書名・名称	版・頁	部数	発行年月日	配布先	内容等
豊橋市自然史博物館年報第 31 号	A4 71 頁	—	元 . 6. 30	ホームページ PDF 公開	年間活動報告
豊橋市自然史博物館研究報告 第 30 号 (ISSN 0917-1703)	A4 70 頁	600	2. 2. 28	関係機関	研究報告・論文

(15) 連携・共催事業等

1) 名古屋芸術大学との連携事業

平成 26 年度に名古屋芸術大学と締結した連携協定に基づき、令和元年度は下記の連携事業を行った。

①特別企画展 PR 用トリックアートデザイン製作

場 所：自然史博物館特別企画展示室内及び、豊橋駅東西連絡通路

展示期間：令和元年 7 月 12 日（金）～9 月 1 日（日）及び、令和元年 7 月 2 日（火）～8 月 31 日（土）

内 容：デザイン領域メディアコミュニケーションデザインコースの学生 6 名が深海の風景や生物に関するトリックアートのオリジナルデザインを制作。

②芸術学部学生によるミュージアムコンサート

期 日：令和 2 年 1 月 4 日（土）

会 場：自然史スクエア

内 容：5 名の奏者による演奏会

参加者：280 名

③博物館職員による講義

- ・全学総合共通科目での講義

期日：令和元年 7 月 22 日（月）

場所：名古屋芸術大学

講師：西 浩孝

- ・小学校教員養成系科目での講義 I

期日：令和元年 7 月 23 日（火）

場所：名古屋芸術大学

講師：安井謙介

- ・小学校教員養成系科目での講義 II

期日：令和元年 12 月 10 日（火）

場所：名古屋芸術大学

講師：安井謙介

- ・生涯学習大学公開講座での講義

期日：令和元年 11 月 30 日（土）

場所：名古屋芸術大学

講師：安井謙介

2) あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク

主催：国立大学法人名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

※東海地方の大学、研究機関、博物館 28 機関が参加（2020 年 1 月現在）

①夏休みあいちサイエンスフェスティバル 2019

期 間：令和元年 7 月 20 日～9 月 1 日

内 容：期間中の自然史博物館行事を参加イベントとして登録。

②あいちサイエンスフェスティバル 2019

期 間：令和元年 9 月 21 日～11 月 24 日

内 容：期間中の自然史博物館行事を参加イベントとして登録。

③「名古屋大学出前授業 in 豊橋」の開催 (科学教育センターと共同開催)

※内容は別掲 (P. 18)

3) 企画展「子～お正月までいくつ子(ね)る?～」

協力：浜松市博物館

会場及び展示期間：

- ・豊橋市自然史博物館

令和元年 12 月 21 日（土）～令和 2 年 1 月 19 日（日）

- ・浜松市市民ミュージアム浜北

令和 2 年 1 月 26 日（日）～3 月 8 日（日）

- ・浜松市博物館

令和 2 年 3 月 14 日（土）～5 月 6 日（水）

4) 二川地区連携事業

「謎解き フタガワCODE」

二川地区にある5つの博物館等施設において昨年引き続き「謎解き フタガワCODE」を実施した。

開催期間：令和元年11月2日(土)～令和2年3月15日(日) 113日間

内容：チラシの裏面にある5つの謎を解いて導き出された場所に行き、設置されたQRコードから新たな謎を解く。正解すると、ふだんは体験できない「選べるプレミアムイベント」や招待券のプレゼントに応募できる。

参加者：2,424人(チラシ配布数、pdfファイルダウンロード数を含む)

プレゼント応募数

(プレミアムイベント当選数は各施設2組)

プレゼント	応募数
自然史博物館大型映像招待券(総合動植物公園入園券付)5組10人	36
二川宿本陣資料館招待券5組10人	7
総合動植物公園 「動物の素顔にふれる特別ガイド」	35
自然史博物館 「化石プレゼント付博物館特別ガイド」	28
二川宿本陣資料館 「本陣上段の間に座って記念撮影」	4
視聴覚教育センター・地下資源館 「思い出の日の星空を特別投映」	9
計	119

※QRコードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です

アンケート集計結果(回収数119)

項目	人数	構成比%	
住所	市内	78	65.5
	県内	21	17.6
	県外	20	16.8
	計	119	100
性別	男	64	53.8
	女	53	44.5
	不明	2	1.7
	計	119	100
年齢	～9	35	29.4
	10代	12	10.1
	20代	1	0.8
	30代	27	22.7
	40代	17	14.3
	50代	7	5.9
	60代	12	10.1
	70代～	3	2.5
	不明	5	4.2
	計	119	100

5) AEL ネット環境学習スタンプラリー

主催：愛知県環境学習施設等連絡協議会

開催期間：令和元年6月21日(金)～令和2年2月13日(木)

内容：来館者がスタンプを押すスタンプラリーを実施。

(16) 講師・委員の派遣等

1) 出前授業

原則として市内の小・中学生を対象に、学校からの要請を受け、学芸員を派遣し授業を行っている。令和元年度はのべ27校で55時限実施し、1,849人が受講した。

・令和元年度出前授業の実施状況（時間延長した授業も1時限として集計）

No.	学校名	学年	人数	タイトル	時限数	実施日	担当学芸員
1	賀茂小学校	4・5	26	海辺の生き物	2	5/22	西
2	中野小学校	3	78	身近な昆虫の観察	2	5/28	長谷川
3	桜丘中学校	1	74	外来魚の種類や問題点について	2	5/30	坂本
4	芦原小学校	3	71	昆虫のからだのつくり	2	6/6	長谷川
5	石巻中学校	1	44	カタツムリの体と生活	3	6/6	西
6	桜丘中学校	1	74	絶滅の恐れがある愛知県の動物	2	6/13	長谷川
7	石巻小学校	4	49	石巻山探検隊～石巻山に住むマイマイについて調べよう～	3	6/13	西
8	田原市大草小学校	2	15	身近な昆虫の観察	2	6/14	長谷川
9	つつじが丘小学校	4	115	生物多様性（生き物の生活環境について考えよう）	1	6/25	長谷川
10	幸小学校	4	145	清水池に住む生き物について	1	6/27	坂本
11	五並中学校	2	36	動物のからだのつくりとはたらき	1	9/3	安井
12	五並中学校	3	40	絶滅の恐れがある愛知県の動物	1	9/4	安井
13	天伯小学校	4	52	動物のからだのつくりとはたらき	2	9/6	安井
14	五並中学校	2	36	ヒトの体のつくりとはたらき	1	9/10	安井
15	中野小学校	3	78	淡水にすむ貝	1	9/11	西
16	下地小学校	4	50	動物のからだのつくりとはたらき	2	9/20	安井
17	岩田小学校	1	138	身近な昆虫の観察（秋の虫）	4	9/27	長谷川
18	南稜中学校	3	60	守ろう！ぼくらの梅田川 考えよう！地球の未来～干潟の生物を観察しよう～	2	9/27	西
19	栄小学校	1	120	ダンゴムシについて	1	10/1	西
20	嵩山小学校	4	7	身近な昆虫の観察（水辺の昆虫教室）	2	10/2	長谷川
21	多米小学校	1	100	秋となかよし	3	10/16	長谷川
22	前芝中学校	2	30	無脊椎動物の体のつくり	2	10/17	西
23	杉山小学校	5	65	かわらの石のはなし	2	10/17	加藤
24	大崎小学校	1	34	大崎いきもの観察隊～公園にはどんな虫がいるのかな～	2	11/1	長谷川
25	岩西小学校	5	90	高師小僧ってなんだろう	3	11/7	加藤
26	下地小学校	6	66	大地のしましまをさぐる	2	11/13	吉川
27	岩田小学校	6	156	大地のしましまをさぐる	4	11/27	吉川

2) 講義・講演等

No.	タイトル	会場	期日	人数	担当学芸員
1	東海学園高校理科教員研修	自然史博物館	4/4	12	西
2	ホテル観察会	西川芸能練習場	5/29	69	長谷川
3	知っとく豊橋ゼミナール	東部地区市民館	6/1	20	加藤
4	嵩山校区社会委員会講演会	嵩山校区市民館	6/1	50	安井
5	遠江国分寺跡出土の岩石鑑定	磐田市教育委員会	6/11	3	加藤
6	赤塚山公園自然観察会	赤塚山公園	6/16	28	西
7	セキスイハイム表浜自然環境観察会	表浜海岸	6/22	58	長谷川
8	渥美半島環境活動協議会記念事業講演会	田原中部市民会館	6/22	50	松岡
9	愛教大理科授業研究	自然史博物館	7/6	7	長谷川
10	名古屋市防災センターギャラリートーク	名古屋市防災センター	7/20	42	松岡
11	深海環境と生物	名古屋芸術大学	7/22	160	西
12	小学校「理科」における自然史博物館の利用	名古屋芸術大学	7/23	40	安井
13	高文連自然科学専門部会	自然史博物館	7/31	81	松岡・西・吉川・加藤
14	キッズサイエンス@サカエ	松坂屋名古屋店	8/3	30	坂本
15	多治見北高校 自然史博物館及び汐川干潟研修	自然史博物館、汐川干潟	8/4	42	西
16	夏休みおもしろ実験教室・観察教室 in しんしろ	ちさと館	8/8	120	吉川・西
17	スーパーサイエンスハイスクール連携講座	自然史博物館	8/22	20	安井
18	豊川上水辺保全会 生息魚類調査、外来魚駆除	豊川（新城市）	8/25	40	坂本
19	二川中地域文化体験講座	自然史博物館	9/14	20	吉川
20	西郷小・賀茂小合同授業	自然史博物館	9/20	36	吉川
21	ルネッサンスペットアカデミー学外授業	自然史博物館	11/7、11/14	42	安井
22	豊橋ライターズ石巻山取材	石巻自然科学資料館	11/9	9	長谷川
23	ティラノサウルスレプリカ製作及び恐竜の歯について	名古屋芸術大学	11/30	10	安井
24	小学校「理科」における自然史博物館の利用	名古屋芸術大学	12/10	10	安井
25	ルネッサンスペットアカデミー学外授業	自然史博物館	1/8	13	安井

3) 委員等の委嘱、派遣

①科学教育推進委員会

委員：加藤千茶子・長谷川道明

期日：令和元年5月14日（火）、6月14日（金）、11月19日（火）

②授業・学習支援センター推進委員会

委員：仲井慎治

期日：令和元年5月14日（火）、6月28日（金）、9月17日（火）、令和2年1月21日（火）

③あいちサイエンスフェスティバル2019 実行委員会

委員：丹羽美春・長谷川道明

期日：令和元年6月7日（金）、令和2年3月6日（金）（新型コロナウイルス感染症対策のため中止）

3. 学会等の誘致

(1) 第34回日本植生史学会大会

日本植生史学会の総会、研究発表大会、公開シンポジウム「種の同定への挑戦：植物化石や植物遺体から種はどこまで認識できるのか？」を開催した。

期日：12月6日（金）幹事会

12月7日（土）公開シンポジウム等

12月8日（日）研究発表

12月9日（月）巡検

内容：口頭発表（15件）、ポスター発表（14件）、公開シンポジウム（94名：うち一般35名）

大会出席者：73名

主催：日本植生史学会

共催：豊橋市教育委員会

関連行事：企画展「豊橋周辺の植物化石（11/16～12/15）」

4. 調査研究活動

(1) 学芸員等の研究業績等

（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

松岡敬二（館長：古生物）

調査研究の主なテーマ

・東アジアの生物相の発達史

・博物館学の研究史

令和元年度の調査研究テーマ

・日本の非海生生物化石

・博物館展示物展示方法

1) 論文

①Hirano, T., Saito, T., Tsunamoto, Y., Koseki, J., Prozorova, L., Tu, D., Matsuoka, K., Nakai, K., Suyama, Y., and Chiba, S. 2019. Role of ancient lake for genetic and phenotypic diversification of freshwater snails. *Molecular Ecology*, 2019; 00:1-20.

②松岡敬二, 2019. ため池の生物から見た化石研究. *ため池の自然*, (60): 83-89.

③Matsuoka, K. 2019. Origin and temporal succession of molluscan fauna in Paleo-ancient Lake Biwa. In: Kawanabe, H., Nishino, M., and Maehata, M. (eds.), *Lake Biwa: Interactions between nature and people (2nd edition): in press*. Springer, Berlin Heidelberg. (in press)

④松岡敬二, 2019. 豊橋市自然史博物館のあゆみに見る新機軸. 第26回全国科学博物館協議会研究発表大会資料(2): 33-60.

2) 学会等発表

①楠 房子・稲垣成哲・松岡敬二, 2019. 博物館における2段展示のデザインと効果の検証. 科学系博物館におけるユニバーサルデザイン手法の開発(課題研究発表). 日本科学教育学会, 宇都宮大学, 2019. 8. 23.

②松岡敬二, 2019. 「花祭の伝播地とジオサイト」 in シンポジウム「奥三河の大地と花祭」. 東栄町グリーンハウス, 2019. 11. 9.

3) 普及書など

①松岡敬二, 2019. 第6回犬山地層勉強会「東三河ジオパーク構想の現状－犬山地域のジオ

パークに向けて」. 広報誌「犬山学第5号」.

- ②松岡敬二, 2019. 郷土カルタに詠まれた化石
- ③貝類. 会誌郷土かるた (日本郷土かるた協会), (18) : 2-3.
- ③松岡敬二, 2019. 柘植歴史民俗資料館展示の郷土カルタ. 会誌郷土かるた (日本郷土かるた協会), (19) : 2, 1p : 写真.
- ④松岡敬二, 2020. 郷土玩具宝なりとカルタ. 郷土カルタに詠まれた郷土玩具. (1/18). 東日新聞.

坂本博一 (主幹学芸員 : 魚類)

調査研究の主なテーマ

- ・三河地方の魚類相

令和元年度の調査研究テーマ

- ・豊橋市内の外来魚
- ・豊橋市内ため池における魚類生息状況
- ・資料集「魚類 I」
- ・愛知県近海産の深海性魚類
- ・東三河沿岸における魚類仔稚魚の食性

1) 論文

- ①坂本博一・西 浩孝・松岡敬二 : 豊橋市の鳶ノ巣池と西籠田池で確認された淡水動物及び池周辺の陸産貝類. 豊橋市自然史博物館研究報告, (30) : 55-61.

2) 学会発表

なし

3) 普及書など

なし

長谷川道明 (学芸専門員 : 昆虫)

調査研究の主テーマ

- ・日本産カミキリムシの種分化と系統
- ・東海地方の昆虫相

令和元年度の調査研究テーマ

- ・ツシマゴマフチビカミキリの属所属について
- ・トカラ列島産の *Egesina* 属について
- ・愛知県の甲虫類のインベントリーに関する研究
- ・東海地方のレッドデータ種に関する研究

1) 論文

- ①豊島健太郎・高井 泰・長谷川道明・緋田祐太・細江 守, 2019. 2017年乗鞍岳高山帯のコウチュウ目. 佳香蝶, (278) : 29-35.
- ②長谷川道明・蟹江 昇・戸田尚希, 2020. (6) 昆虫類 (分担執筆), レッドデータブックあいち 2020, 255-446, 愛知県.
- ③鈴木啓久・船越進太郎・長谷川道明, 2019. 2019年7-8月双六岳における鱗翅目昆虫の記録. 啓蟄, (69) : 68-69.
- ④戸田尚希・長谷川道明・大野友豪・蟹江昇, 2019. 愛知県の甲虫目録5 (ゴミムシダマシ科:スナゴミムシダマシ族). 佳香蝶, (280) : 102-111.
- ⑤渋谷悠里菜・浅香智也・市川葉子・大井章豊・小鹿 亨・近藤洋一郎・榊原正己・鈴木明子・立脇隆文・立脇菜里・西 浩孝・西田美紀・饒波希衛・長谷川道明・富谷拓幹・山上将史・山田哲也・島田知彦, 2020. 東三河地域に生息する水田棲カエル類の分布状況. 豊橋市自然史博物館研究報告, (30) : 21-30.

2) 学会発表

- ①長谷川道明, 2020. 和歌山県で採集された *Mesosella* 属の不明種について. カミキリムシ研究会, 2020年2月1日, 東京.

3) 普及書など

なし

加藤千茶子 (主任学芸員 : 岩石・鉱物)

調査研究の主テーマ

- ・郷土の鉱物岩石相

令和元年度の調査研究テーマ

- ・豊川流域の岩石分布について
- ・東三河地域のジオパーク構想について
- ・ジオガイドと連携したジオパーク普及事業の開発
- ・高校と連携したジオパーク教育プログラムの開発

1) 論文

なし

2) 学会発表

①加藤千茶子, 2019. 「ジオパーク」まず知ってもらうために…東三河地域の取り組み～企画展「ジオパークを知ろう！」と連携ワークショップを通じて～. 第10回日本ジオパーク全国大会. 2019年10月23日. (豊後大野市).

3) 普及書など
なし

吉川博章 (主任学芸員: 古生物)

調査研究の主テーマ

- ・新生代植物化石と堆積相解析による環境復元
- ・郷土の植物化石

令和元年度の調査研究テーマ

- ・常滑市の鮮新統大谷火山灰層中の埋没木化石
- ・豊橋市大岩町の更新統産植物化石
- ・黒田啓介氏寄贈植物化石コレクションの更新統植物化石
- ・辻富夫氏寄贈の中新統平牧層産植物化石

1) 論文

なし

2) 学会発表

①吉川博章, 2019. 愛知県豊橋市大岩町の中期更新統世湖成堆積物中の大型植物化石. 第34回日本植生史学会大会, 2019年12月7-8日, 豊橋市自然史博物館 (豊橋市).

3) 普及書など

なし

安井謙介 (主任学芸員: 脊椎動物)

調査研究の主テーマ

- ・日本列島の哺乳動物相の変遷史
- ・豊橋周辺の遺跡産出動物遺体の動物考古学的研究
- ・現生脊椎動物の比較形態学的研究
- ・豊橋市を中心とした東三河地方の現生脊椎動物相
- ・展示・教育普及活動のオリジナルプログラム開発

令和元年度の調査研究テーマ

- ・富山県高岡市西部丘陵地帯から産出した鰭脚類化石について
- ・豊橋市内の洞窟堆積物及び裂罅堆積物から産出する更新世哺乳類化石について
- ・蜆塚貝塚産出の動物遺体について
- ・現生鳥類の比較骨学的研究
- ・渥美半島にストランディングする脊椎動物に関する基礎的調査
- ・東三河の陸生脊椎動物の生息状況について
- ・名古屋芸術大学との連携プログラム開発に関する調査・研究
- ・動物園所蔵標本の教育普及プログラムへの活用と学術利用に向けて

1) 論文

①安井謙介, 2020. 渥美半島沖海底より新たに発見されたナウマンゾウの臼歯化石. 豊橋市自然史博物館研究報告 (30): 43-46.

2) 学会発表

なし

3) 普及書など

- ①安井謙介, 2019. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (53) 「平成30年度の新着資料」. このはずく (東三河野鳥同好会会報), (529): 5.
- ②安井謙介, 2019. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (54) 「黄泉の国を調査する」. このはずく (東三河野鳥同好会会報), (530): 5.
- ③安井謙介, 2019. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (55) 「標本の貸し出し」. このはずく (東三河野鳥同好会会報), (531): 5.
- ④安井謙介, 2019. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (56) 「報われた苦勞」. このはずく (東三河野鳥同好会会報), (532): 5.
- ⑤安井謙介, 2019. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (57) 「トリ持つ縁 (えん)」. このはずく (東三河野鳥同好会会報), (533): 5.
- ⑥安井謙介, 2019. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (58) 「秘骨御開帳」. このはずく (東三河野鳥同好会会報), (534): 5.
- ⑦安井謙介, 2019. 或る博物館学芸員のたわい

- 無い話 (59)「久しぶりのエフエム豊橋」。このはずく (東三河野鳥同好会会報), (535):5.
- ⑧安井謙介, 2019. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (60)「アカショウビン」。このはずく (東三河野鳥同好会会報), (536):5.
- ⑨安井謙介, 2019. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (61)「待望の1冊」。このはずく (東三河野鳥同好会会報), (537):5.
- ⑩安井謙介, 2020. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (62)「歯」。このはずく (東三河野鳥同好会会報), (538):5.
- ⑪安井謙介, 2020. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (63)「学会に行ってきました」。このはずく (東三河野鳥同好会会報), (539):5.
- ⑫安井謙介, 2020. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (64)「未来のために」。このはずく (東三河野鳥同好会会報), (540):5.

西 浩孝 (学芸員: 貝類)

調査研究の主テーマ

- ・陸産貝類の形態の多様化と系統分類
- ・中部地方の貝類相
- ・三河地方の無脊椎動物相

令和元年度の調査研究テーマ

- ・ニシキマイマイの殻形態変異と分子系統
- ・オモイガケナマイマイの形態変異
- ・新潟県十日町市の貝類相
- ・東海地方の干潟における希少貝類の生息状況
- ・愛知県のウミウシ相
- ・豊橋市周辺のため池における淡水生貝類の生息状況
- ・三河地方の無脊椎動物相

1) 論文

- ①石田 惣・中田兼介・西 浩孝・藪田慎司, 2019. 生物学動画アーカイブの運用で想定される課題: 研究者アンケートからの考察. デジタルアーカイブ学会誌, 3: 334-344.
- ②渋谷悠里菜・浅香智也・市川葉子・大井章豊・小鹿 亨・近藤洋一朗・榊原正己・鈴木明子・立脇隆文・立脇菜里・西 浩孝・西田美紀・

- 饒波希衛・長谷川道明・富谷拓幹・山上将史・山田哲也・島田知彦, 2020. 東三河地域に生息する水田棲カエル類の分布状況. 豊橋市自然史博物館研究報告, (30): 21-30.
- ③坂本博一・西 浩孝・松岡敬二, 2020. 豊橋市の鳶ノ巣池と西籠田池で確認された淡水動物及び池周辺の陸産貝類. 豊橋市自然史博物館研究報告, (30): 55-61.
- ④西 浩孝, 2020. 三河湾で絶滅危惧種の巻貝ウミヒメカノコ類似種 (アマオブネ科) の死殻を確認. 豊橋市自然史博物館研究報告, (30): 63-65.

2) 学会発表

なし

3) 普及書など

- ①早瀬善正・木村昭一・西 浩孝・守谷茂樹・岩田明久, 2019. 日間賀島 (三河湾) の潮間帯貝類相. かきつばた, (44): 1-15.
- ②早瀬善正・木村昭一・岩田明久・河辺訓受・矢橋 真・西 浩孝・守谷茂樹・福田 宏, 2019. 岐阜県揖斐川郡揖斐川町と本巣市の陸・淡水産貝類相. かきつばた, (44): 44-60.

一田昌宏 (学芸員: 古生物)

調査研究の主テーマ

- ・飛騨外縁帯産出化石の古生物学的研究
- ・付加体及び付加体中の微化石に関する研究
- ・収蔵資料の効果的な利用に資するシステムの構築
- ・異常巻紡錘虫の生態学的研究

令和元年度の調査研究テーマ

- ・一の谷より産出した掘足類の比較検討
- ・岐阜県不破郡垂井町の重力流起源の炭酸塩堆積物
- ・福井県越前町の重力流起源の炭酸塩堆積物
- ・弓張山地の付加体の再検討
- ・化石標本のリスト化及び収蔵庫2内での電子地図作製
- ・*Nipponitella*の生息姿勢及び環境の推定

1) 論文

- ①一田昌宏, 2020. *Nipponitella auriculla* Hanzawa, 1938 (ペルム紀“異常巻”紡錘虫類)の産出層準の特定とその産状. 豊橋市自然史博物館研究報告, (30): 51-54.

2) 学会発表

なし

3) 普及書など

なし

丹羽美春

1) 論文

- ①丹羽美春, 2020. 愛知県段戸山地域から産出した単斜末野閃石. 豊橋市自然史博物館研究報告, (30): 47-49.

2) 学会発表

なし

3) 普及書など

なし

(2) 学会、研究会等への参加

※公務による出張のみ掲載、ジオパーク関連は別途掲載 (p. 18)

①全国博物館長会議

期日: 令和元年7月3日(水)
場所: 文部科学省講堂
参加職員: 仲井慎治

② ICOM 京都大会

期日: 令和元年9月2日(月)
場所: 京都国際会議場
参加職員: 長谷川道明

③あいち・なごや生物多様性 EXPO

期日: 令和2年1月11日(土)、12日(日)
場所: 名古屋国際会議場
参加職員: 長谷川道明・西 浩孝

④日本古生物学会第169回例会

期日: 令和2年2月7日(金)～9日(日)
場所: 東京大学駒場キャンパス
参加職員: 安井謙介

(3) 調査研究に係る出張

※公務による県外出張のみ掲載

①オープンラボ開設のための調査1

期日: 令和元年6月3日(火)～13日(木)
場所: 北海道三笠市
研究担当者: 一田昌宏

②オープンラボ開設のための調査2

期日: 令和2年1月28日(火)～30日(木)
場所: 福岡県福津市
研究担当者: 西 浩孝

③オープンラボ開設のための調査3

期日: 令和2年3月9日(月)～13日(金)
場所: 鹿児島県奄美大島
研究担当者: 西 浩孝

④展示改装等準備のための調査

期日: 令和元年11月26日(火)～30日(土)
場所: 岐阜県高山市
研究担当者: 一田昌宏

(4) 外部研究資金助成等の獲得

①独立行政法人日本学術振興会・令和元年度科学研究費助成事業・奨励研究

研究担当者: 一田昌宏
研究課題名: 離弁二枚貝状異常巻き紡錘虫
Nipponitella のタフオノミーと古生態
課題番号: 19H00229
交付額: 540,000円

5. 資料の収集・保管活動

(1) 採集資料

採集年月日	場所	採集資料名	採集者	点数
《古生物》				
2020. 01. 25	新城市玖老勢地蔵入 花垣鉱山	ウロコ化石（ニシン科）	加藤千茶子	1
《岩石・鉱物》				
2019. 11. 22	新潟県新潟市西蒲区間瀬 間瀬海岸	沸石類	加藤千茶子	10
《貝類》				
2016. 08. 04	新城市大野上貝津	陸産貝類	芳賀拓真 松岡敬二	6
2019. 04. 19	豊橋市 前芝海岸	海産貝類	西 浩孝 松岡敬二	17
2019. 05. 11	豊橋市 豊川河口	海産貝類	西 浩孝 松岡敬二 加藤正敏 瀬尾絵理子	11
2019. 08. 04	豊橋市杉山町 汐川干潟	ムラサキガイ	西 浩孝	1
2019. 11. 14	豊橋市大岩町大穴 豊橋市自然史博物館	ナメクジ	西 浩孝	1
2019. 11. 21	豊橋市中原町 摺鉢池	淡水産貝類	西 浩孝 松岡敬二 坂本博一	1
2019. 11. 22	新潟県新潟市西蒲区七淵	陸産貝類	加藤千茶子	2
2020. 01. 28 ～ 29	福岡県福津市	海産貝類	西 浩孝	28
《甲殻類》				
2019. 04. 19	豊橋市 前芝海岸	フジツボ	西 浩孝 松岡敬二	5
2019. 05. 22	豊橋市 伊古部海岸	スナガニ	西 浩孝	5
2019. 11. 21	豊橋市中原町 摺鉢池	甲殻類	西 浩孝 松岡敬二 坂本博一	13
《その他無脊椎動物》				
2019. 11. 21	豊橋市中原町 摺鉢池	海綿・コケムシ	西 浩孝 松岡敬二 坂本博一	5
2020. 01. 28 ～ 29	福岡県福津市	ヒラタブンブク	西 浩孝	17
《魚類》				
2019. 11. 21	豊橋市中原町 摺鉢池	タウナギ	西 浩孝	1
《哺乳類》				
2020. 02. 28	豊橋市小島町 表浜	スナメリ	安井謙介	1
2020. 03. 21	豊橋市寺沢町 表浜	スナメリ	安井謙介	1

(2) 寄贈資料

資料名	寄贈者	受付年月日	点数
《古生物》			
中国産化石	伊藤般展	2019.05.11	3
ハダカイワシ目の化石	水野吉昭	2019.07.05	2
ミジンギリギリツツガイ科の新種	小林伸明	2019.10.31	3
更新統 貝・植物化石	吉川博章	2020.03.23	28
《岩石・鉱物》			
ダナイト、ハルツパージャイト、レルゾライト	丹羽健文	2019.05.19	3
パイロクスマンガン鉱	三浦 榮	2019.08.17	1
ランプロファイアー	早野則子	2019.09.14	1
石炭	吉川博章・藤原直子	2019.09.25	1
東三河産等鉱物・岩石	三浦 榮	2019.10.04	100
カンラン岩	早野則子	2019.12.18	1
ズニ石、トパズ	権田恒夫	2020.01.18	3
《貝類》			
海産貝類（紙田川河口産）	西 浩孝	2019.04.24	14
海産貝類（六条潟産）	西 浩孝	2019.04.24	31
海産貝類（西ノ浜産）	西 浩孝	2019.04.24	19
海産貝類	西 浩孝	2019.05.08	22
海産貝類	西 浩孝	2019.05.21	80
淡水産貝類	西 浩孝	2019.05.27	3
海産貝類	西 浩孝	2019.06.06	30
陸産貝類	仲田彰男	2019.06.15	2
海産貝類	西 浩孝	2019.06.18	8
貝類	浅間自然環境事務所	2019.06.27	3
陸・海産貝類	西 浩孝	2019.07.09	161
汽水産貝類	西 浩孝	2019.07.17	12
陸産貝類	岩崎員郎	2019.07.25	5
陸産貝類	一田昌宏	2019.07.27	5
海産貝類	大村恵一	2019.08.12	72
コハクオナジマイマイ	伊與田哲子	2019.08.23	1
海産貝類	西 浩孝	2019.09.02	4
陸産貝類	小林伸明	2019.09.21	6
フネアマガイ	松岡敬二	2019.09.27	1
二枚貝	西 浩孝	2019.10.08	2
陸産貝類	西 浩孝	2019.10.08	8
ムラサキガイ	北河範枝	2019.10.20	4

海産貝類	浅田 要	2019. 10. 20	45
陸産貝類	松岡敬二	2019. 10. 29	1
海産貝類	西 浩孝	2019. 11. 16	24
海産貝類	西 浩孝	2019. 12. 13	13
貝類	仲田彰男	2019. 12. 15	2
ウミウシ	西 浩孝	2020. 01. 03	14
貝類	松岡敬二	2020. 01. 08	73
海産貝類	西 浩孝	2020. 01. 15	20
海産貝類	西 浩孝	2020. 02. 12	22
《甲殻類》			
甲殻類 (六条潟産)	西 浩孝	2019. 04. 24	1
甲殻類 (西ノ浜産)	西 浩孝	2019. 04. 24	1
甲殻類	坂本博一	2019. 05. 16	2
甲殻類	西 浩孝	2019. 05. 21	1
甲殻類	西 浩孝	2019. 05. 27	6
甲殻類	浅間自然環境事務所	2019. 06. 27	11
ハマトビムシ	西 浩孝	2019. 07. 09	12
ツノメガニ	西 浩孝	2019. 09. 27	1
ハマスナホリガニ	西 浩孝	2019. 10. 08	5
ニホンスナハマトビムシ	西 浩孝	2019. 10. 14	2
ムラサキヤドリエビ	西 浩孝	2019. 11. 30	1
《その他無脊椎動物》			
スズメガイダマシ	西 浩孝	2019. 07. 07	3
ナマコ	西 浩孝	2019. 09. 02	1
ウラシマグモ	西 浩孝	2019. 10. 29	1
シーボルトミミズ	西 浩孝	2019. 11. 06	1
スズメガイダマシ	西 浩孝	2019. 11. 30	1
スズメガイダマシ	西 浩孝	2019. 12. 13	4
ニセクロナマコ	西 浩孝	2019. 12. 13	1
《魚類》			
ハダカイワシ	丹羽美空	2019. 04. 13	1
魚類液浸標本	浅間自然環境事務所	2019. 06. 27	32
愛知県産魚類標本	荒尾一樹	2019. 08. 19	38
《爬虫類》			
シロマダラ	長谷川恵美	2019. 08. 12	1
シロマダラ	山口恵子	2019. 11. 24	1
《鳥類》			
ハクセキレイ	山口恵子	2019. 04. 01	1

メジロ	岩崎員郎	2019.04.04	1
ゴイサギ	今井尚子	2019.04.19	1
ミサゴ	わたらい動物病院	2019.04.23	1
フクロウ	山口恵子	2019.05.06	1
ヒメウ	藤岡エリ子	2019.05.11	1
ニワトリ、ヒメウズラ、ウズラ	今井菜々	2019.06.13	10
ニワトリ、ヒメウズラ、ウズラ	今井菜々	2019.07.09	11
ハヤブサ	わたらい動物病院	2019.07.09	1
カワセミ	山口薫可	2019.07.17	1
ツバメ	藤岡エリ子	2019.07.19	1
カワセミ	石田さよ子	2019.07.23	1
アカハラ	糸魚川淳二	2019.08.08	1
ニワトリ	今井菜々	2019.08.10	9
ウグイス	安井佳代	2019.08.19	1
チョウゲンボウ	藤岡エリ子・伴 了	2019.08.26	1
アカエリヒレアシシギ	田中俊延	2019.09.14	1
ニワトリ	今井菜々	2019.09.21	5
ヒヨドリ	藤岡エリ子	2019.10.04	1
ヨウム	若林達郎	2019.10.24	1
ミサゴ・モモアカノスリ	わたらい動物病院	2019.11.12	2
ツグミ	末吉許時	2019.11.21	1
ヒヨドリ	山口恵子	2019.11.22	1
スズガモ	藤岡純治・藤岡エリ子	2019.12.16	2
ヒメウ	藤岡エリ子	2019.12.21	1
メジロ	藤岡エリ子	2020.01.10	1
カンムリカイツブリ	藤岡エリ子	2020.01.11	2
カンムリカイツブリ	藤岡エリ子	2020.01.16	1
カワセミ	大橋正典	2020.01.26	1
モズ	渡辺範久	2020.02.04	2
ホシハジロ	山口温子	2020.02.07	1
ケリ	藤岡エリ子	2020.02.20	1
《哺乳類》			
カモシカ 頭蓋骨	山口恵子・山口温子	2019.04.03	1
アナグマ	山本浩司	2019.04.20	1
ハクビシン	山口恵子	2019.05.18	1
コウベモグラ	豊橋みどりの協会	2019.07.21	1
ニホンジカ	竹井 淳	2019.11.22	3
ニホンジカ	竹井 淳	2019.11.24	3

ハクビシン	今井菜々	2019.12.06	1
ニホンジカ、キツネ	竹井 淳	2019.12.18	4
ニホンジカ	竹井 淳	2020.01.10	4
ニホンイタチ	山口恵子	2020.02.09	1

(3) 収蔵資料状況（令和2年3月31日現在）

区分	記号	令和元年度 受入点数	令和元年度 登録点数	登録資料	未登録資料	登録・未登 録資料合計
古生物部門	TMNH	37	31	10,784	57,065	67,849
岩石・鉱物部門	TMNH-R	120	30	4,007	4,846	8,853
植物部門	TMNH-B	0	0	16,402	17,934	34,336
動物部門		1,037	516	68,330	374,040	442,370
その他（民芸品等）		0	0	0	6	6
	計	1,194	577	99,523	453,891	553,414
（動物部門内訳）						
貝 類	TMNH-MO	774	282	35,140	149,698	184,838
甲殻類	TMNH-C	66	3	55	1,828	1,883
昆虫類	TMNH-I	0	168	29,223	219,621	248,844
その他の無脊椎動物	TMNH-IV	34	5	67	724	791
魚 類	TMNH-F	34	0	2,395	1,539	3,934
両生類	TMNH-AM	0	0	77	49	126
爬虫類	TMNH-RE	2	0	148	64	214
鳥 類	TMNH-AV	67	36	634	271	905
哺乳類	TMNH-MA	22	22	591	206	797

(4) 鳥類等の資料化

自然史博物館では、交通事故や窓ガラスなどに衝突して死亡した野生動物を市民の協力を得て収集している。令和元年度に剥製あるいは骨格標本などに資料化したものは以下のとおりである。

種名	形状	数量
ヨタカ	組立骨格標本	1
クロハラアジサシ	組立骨格標本	1
クロハラアジサシ	本剥製、胴部の骨	1
イソシギ	本剥製、胴部の骨	1
	計	4

(5) 外部研究者の資料利用

等 6 点

収蔵資料について、主に調査研究を目的とした研究者の利用について、令和元年度は 5 件を受入れた。

①件 名：鳥類の脳頭蓋形態の比較のため

利用者：福井県立大学恐竜学研究所

河部壮一郎

内 容：鳥類骨格標本

②件 名：鳥盤類恐竜の重心位置推定のため

利用者：名古屋大学博物館 藤原慎一

内 容：恐竜骨格標本

③件 名：鳥類骨格の調査・研究

利用者：田中誠二・拓海

内 容：アホウドリ類骨格標本

④件 名：アホウドリ科の骨格の比較検討

利用者：田中拓海

内 容：アホウドリ類骨格標本

⑤件 名：アホウドリ科の骨格の比較検討

利用者：田中拓海

内 容：アホウドリ類骨格標本

③貸出先：豊橋市立汐田小学校

目 的：音楽科での授業で使用するため

貸出期間：令和元年 6 月 11 日～7 月 12 日

貸出資料：トビ剥製 1 点

④貸出先：碧南海浜水族館

目 的：「あし・コレクション」での展示のため

貸出期間：令和元年 6 月 20 日～10 月 2 日

貸出資料：哺乳類・鳥類剥製 10 点

⑤貸出先：三笠市立博物館

目 的：「マリタイム！海の爬虫類と哺乳類たち」での展示のため

貸出期間：令和元年 6 月 15 日～10 月 31 日

貸出資料：ミクソサウルス全身骨格レプリカ等 9 点

⑥貸出先：ふじのくに地球環境史ミュージアム

目 的：「大絶滅－地球環境の変遷と生物の栄枯盛衰－」での展示のため

貸出期間：令和元年 11 月 6 日～令和 2 年 4 月 30 日

貸出資料：メソサウルス化石等 15 点

⑦貸出先：豊田市郷土資料館

目 的：「猿投山－祈る山、観る山、登る山－」での展示のため

貸出期間：令和元年 12 月 23 日～令和 2 年 3 月 31 日

貸出資料：猿投山産花崗岩等 6 点

⑧貸出先：浜松市博物館

目 的：「子－お正月までいくつ子（ね）る？－」での展示のため

貸出期間：令和 2 年 1 月 22 日～令和 2 年 5 月 15 日

(6) 資料及び標本の貸出・借用

1) 貸出

①貸出先：名古屋市科学館

目 的：「絶滅動物研究所」での展示のため

貸出期間：令和元年 6 月 11 日～9 月 26 日

貸出資料：イヌ等の頭骨・骨格標本 12 点

②貸出先：長野市立博物館分館信州新町化石博物館

目 的：「公開 10 周年記念 新町にディプロドクスがやってきた！」での展示のため

貸出期間：令和元年 6 月 29 日～9 月 1 日

貸出資料：スーパーサウルス肩甲骨レプリカ

貸出資料：自然史博物館標本・資料 33 点

- ⑨貸出先：国立科学博物館地学研究部
芳賀拓真
目的：更新統化石フナクイムシ類の研究のため
貸出期間：令和2年2月28日～令和3年3月31日
貸出資料：フナクイムシ化石7ロット

- ⑩貸出先：水族寄生虫研究室 長澤和也
目的：ヤドカリノハラヤドリの形態・分類学的研究
貸出期間：令和2年3月18日～令和3年3月31日
貸出資料：ヤドカリノハラヤドリ1点

2) 借用

- ①借用先：神奈川県立生命の星・地球博物館
目的：展示標本および学習標本として利用するため
借用期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日
借用資料：ストロマトライト、リップルマークなどの岩石標本9点

- ②借用先：大阪市立自然史博物館
目的：特別企画展「深海の玉手箱」での展示のため
借用期間：令和元年7月2日～9月13日
借用資料：マッコウクジラ胃内容物1式

- ③借用先：三重大学大学院生物資源学研究科
木村妙子
目的：特別企画展「深海の玉手箱」での展示のため
借用期間：令和元年7月4日～9月27日
借用資料：セイスイガイ1点

- ④借用先：浜松市博物館
目的：「子ーお正月までいくつ子（ね）る？ー」での展示のため
借用期間：令和元年12月19日～令和2年1月23日
借用資料：歴史・民俗学的資料12点

(7) 図書

1) 購入図書

(単行本)

(11 冊)

書名	著者・編集・監修者	出版社
展示学事典	日本展示学会 (編)	丸善出版
日本淡水化石珪藻図説	田中宏之	内田老鶴圃
鉱工業指数年報〈平成 30 年〉	経済産業統計協会 (編)	経済産業統計協会
宝石と鉱物の大図鑑	スミソニアン協会 (監)	日東書院本社
原寸大写真図鑑 羽 増補改訂版	叶内拓哉・高田 勝	文一総合出版
動物と人間－関係史の生物学－	三浦慎吾	東京大学出版会
日本の海岸植物図鑑	中西弘樹	トンボ出版
日本のウミウシ	中野理枝	文一総合出版
Biomineralization (BIOM2001)	Kobayashi, I. and Ozawa H. (eds)	東海大学出版部
The Dinosauria 2nd ed.	David B. W., Peter D. and Halszka O. (eds)	University of California Press
Nudibranch and Sea Slug Identification 2nd ed.	Gosliner, T. M., Valdes, A. and Behrens, D. W.	New World Pubns Inc

(雑誌類)

(44 冊)

雑誌名	巻号数	出版社
日経サイエンス	第 49 巻第 4 ～ 12 号、第 50 巻第 1 ～ 3 号 (12 冊)	日経サイエンス社
科学	第 89 巻 4 ～ 12 号、第 90 巻 1 ～ 3 号 (12 冊)	岩波書店
遺伝	第 73 巻第 3 ～ 6 号、第 74 巻第 1 ～ 2 号 (6 冊)	エヌ・ティー・エス
生物科学	第 70 巻第 3 ～ 4 号 (2 冊)	日本生物科学者協会
昆虫と自然	第 54 巻第 4 ～ 12 号、第 55 巻第 1 ～ 3 号 (12 冊)	ニューサイエンス社

2) 交換・寄贈図書等

(平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日)

国内：285 機関から 814 冊

国外：13 カ国 28 機関から 90 冊

個人：8 人から 118 点

3) 図書資料収蔵点数

44,009 点 (令和 2 年 3 月 31 日現在)

6. 施設整備

(1) 収蔵庫5 標本棚

生物系標本を適正に収蔵庫内へ収蔵するため、収容力が高い棚の設置や庫内レイアウトの見直し等、収蔵庫の再整備を進めている。令和元年度は、植物標本棚を移動するなど収蔵庫5内のレイアウト変更と、昆虫標本棚について既存標本棚上部への新規標本棚24台の取り付けを行った。

1) 標本棚移設等業務

契約金額：176,000円

請負業者：株式会社東和

業務期間：令和2年1月28日～2月21日

2) 昆虫標本用標本棚

契約金額：3,880,800円

納入業者：株式会社東和

納入日：令和2年2月27日

(2) 屋上防水等改修工事及び古生代展示室予防保全工事

中生代展示室屋上部分・郷土の自然展示室出口側廊下屋上部分・古生代展示室（既設）屋上部分の防水改修工事と、古生代展示室増築部分の予防保全工事を行った。

契約金額：12,042,000円

請負業者：有限会社河合塗装工業

修繕期間：令和元年6月7日～9月9日

(3) その他修繕等

①館内売店電気メーター取替修繕

館内売店電気メーターの取替修繕を行った。

契約金額：28,080円

請負業者：アール電装中部株式会社

修繕期間：令和元年8月16日～9月9日

②No2号機エレベーター抵抗器取替修繕

研究棟にあるNo2号機のエレベーター抵抗器の取替修繕を行った。

契約金額：38,880円

請負業者：東芝エレベーター株式会社中部支社

修繕期間：令和元年9月3日～10日

③生物実験室流し台水栓取替修繕

研究棟にある生物実験室の流し台水栓の取替修繕を行った。

契約金額：99,684円

請負業者：株式会社藤環三河営業所

修繕期間：令和元年9月5日～20日

④研究棟雨水排水管詰り修繕

研究棟の雨水排水管を覆う石膏ボード壁に開口部を設け、排水管の塩ビ管に穴を開ける修繕を行った。

契約金額：86,130円

請負業者：株式会社平本管工

修繕期間：令和元年12月6日～13日

⑤研究棟雨水排水管修繕

既設の壁をコア抜きし、屋外へ排水管を延長し、清掃用の点検口を設置する修繕を行った。

契約金額：78,100円

請負業者：株式会社平本管工

修繕期間：令和元年12月20日～27日

⑥野外恐竜ランド芝生修繕

野外恐竜ランドのジュラシックツリー付近の芝生修繕を行った。

契約金額：77,000円

請負業者：株式会社豊橋園芸ガーデン

修繕期間：令和2年2月27日～3月11日

⑦屋上キュービクル塗裝修繕

研究棟屋上のキュービクルの塗裝修繕を行った。

契約金額：444,400円

請負業者：有限会社創喜商会

修繕期間：令和2年2月27日～3月19日

⑧館内放送用オーディオプレーヤー修繕

館内放送用オーディオプレーヤーの取替修繕を行った。

契約金額：42,240 円

請負業者：日昇テレコム株式会社

修繕期間：令和2年3月3日～18日

⑨光回線切替修繕

インターネット回線を光回線に変更する修繕を行った。

契約金額：221,870 円

請負業者：豊橋ケーブルネットワーク株式会社

修繕期間：令和2年3月4日～9日

⑩研究棟前通路光電式スポット型感知器修繕

研究棟前通路光電式スポット型感知器、及び、研究棟トイレ倉庫定温式スポット感知器の修繕を行った。

契約金額：80,300 円

請負業者：有限会社東豊防災設備

修繕期間：令和2年3月10日～12日

⑪古生代展示室節足動物展示ケース照明修繕

古生代展示室節足動物展示ケース上部に取り付けられた蛍光灯を用いた照明器具を、調光機能付きのLED照明器具に改修した。

契約金額：98,450 円

請負業者：株式会社藤環三河営業所

修繕期間：令和2年3月4日～24日

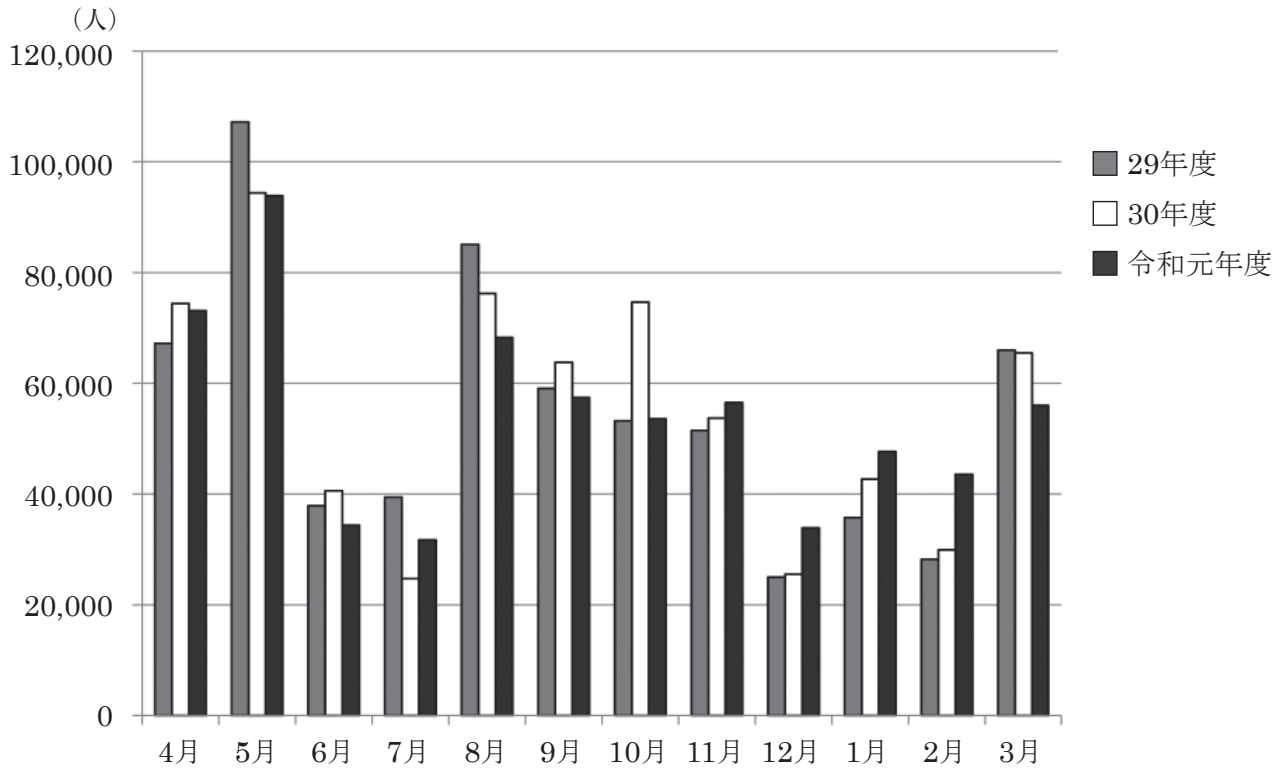
Ⅱ. 利用状況

1. 入館者

(1) 自然史博物館利用統計

区分	29 年度			30 年度			令和元年度		
	入館者	前年比	動植物 公園	入館者	前年比	動植物 公園	入館者	前年比	動植物 公園
月	人	%	人	人	%	人	人	%	人
4	67,227	9.4	84,980	74,408	10.7	94,090	73,103	△1.8	106,889
5	107,179	6.1	132,708	94,365	△12.0	118,524	93,864	△0.5	152,174
6	37,889	20.4	47,663	40,583	7.1	50,462	34,367	△15.3	47,175
7	39,432	△4.8	48,727	24,737	△37.3	28,737	31,722	28.2	45,993
8	85,064	2.5	101,527	76,228	△10.4	97,347	68,270	△10.4	66,952
9	59,074	25.7	74,940	63,795	8.0	80,320	57,440	△10.0	70,953
10	53,194	△31.4	67,397	74,650	40.3	96,808	53,572	△28.2	125,542
11	51,476	0.2	70,783	53,702	4.3	72,667	56,519	5.2	87,992
12	24,999	△9.6	34,554	25,518	2.1	33,741	33,888	32.8	51,369
1	35,748	7.1	47,000	42,696	19.4	52,261	47,645	11.6	59,208
2	28,220	7.8	34,989	29,927	6.0	46,281	43,552	45.5	58,072
3	65,988	△3.7	93,369	65,495	△0.7	77,972	55,996	△14.5	90,521
年計	655,490	0.8	838,637	666,104	1.6	849,210	649,938	△2.4	962,840
累計	14,313,837	—	—	14,979,941	—	—	15,629,879	—	—

※平成4年4月29日、「動物園」と「自然史博物館」が一体の有料都市公園施設となり、名称が『豊橋総合動植物公園』となる。平成8年4月27日植物園オープン。



(2) 入館者種別

(項目別入館者数)

区分	日曜等の区別			合計
	日曜・祝日等	土曜日	その他	
開館日数	70 日	50 日	197 日	317 日
入館者総数	346,241 人	154,739 人	148,958 人	649,938 人
1 日平均	4,946 人	3,095 人	756 人	2,050 人
1 か月平均	28,853 人	12,895 人	12,413 人	54,162 人
1 日最高入館者	5 月 3 日 12,445 人	3 月 21 日 6,039 人	1 月 3 日 6,433 人	—

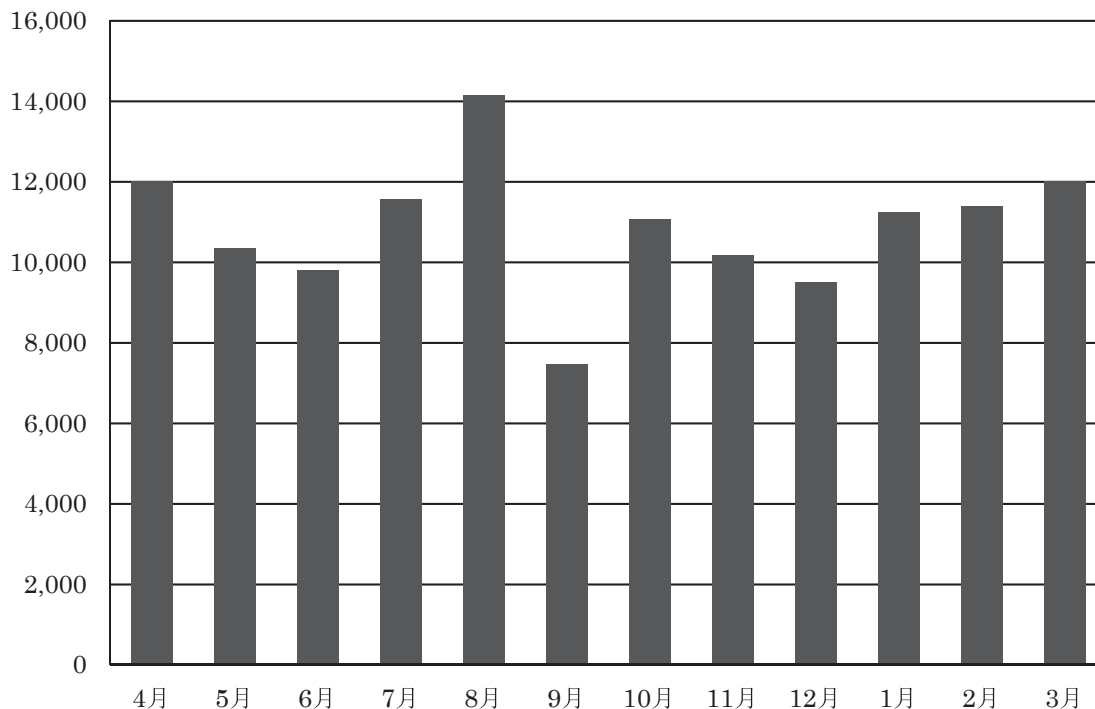
※ 10 月 12 日は台風により閉館

(3) ホームページ閲覧者数

月	アクセス数	
	トップページ	英語版
平成 31 年 4 月	12,018	32
令和元年 5 月	10,357	34
令和元年 6 月	9,797	32
令和元年 7 月	11,571	38
令和元年 8 月	14,144	47
令和元年 9 月	7,470	25
令和元年 10 月	11,061	37
令和元年 11 月	10,164	34
令和元年 12 月	9,490	32
令和 2 年 1 月	11,230	37
令和 2 年 2 月	11,391	38
令和 2 年 3 月	12,018	13
計	131,013	399

※豊橋市自然史博物館ホームページ：<https://www.toyohaku.gr.jp/sizensi/>

ホームページ開設：2000年10月7日



(4) 石巻自然科学資料館入館者状況

区分	29年度			30年度			令和元年度		
	開館日数	利用者	前年比	開館日数	利用者	前年比	開館日数	利用者	前年比
月	日	人	%	日	人	%	日	人	%
4	26	678	△7.0	26	888	31.0	26	443	△50.1
5	26	1,014	△0.8	26	943	△7.0	27	860	△8.8
6	26	606	△15.1	26	485	△20.0	26	715	47.4
7	26	591	4.2	26	363	△38.6	26	358	△1.4
8	27	582	△9.1	27	378	△35.1	27	403	6.6
9	26	464	△11.6	26	368	△20.7	25	453	23.1
10	26	595	△4.6	26	663	11.4	27	615	△7.2
11	26	620	18.5	26	885	42.7	26	840	△5.1
12	27	568	△14.3	26	768	35.2	26	565	△26.4
1	26	856	3.5	27	800	△6.5	27	594	△25.8
2	24	444	△5.9	24	498	12.2	25	500	0.4
3	27	804	10.4	27	596	△25.9	26	1,145	92.1
計	313	7,822	△2.6	313	7,635	△2.4	314	7,491	△1.9

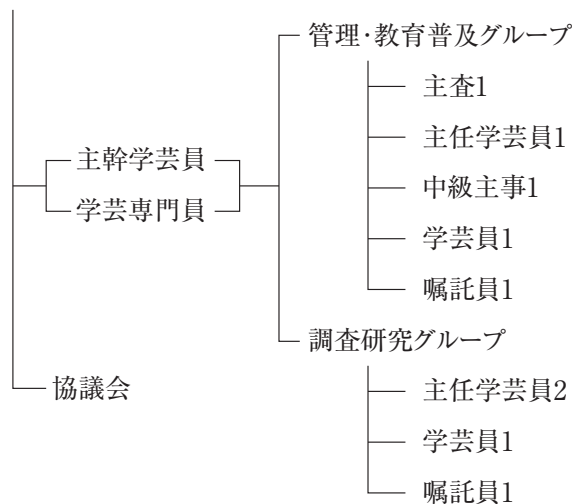
※平成12年度から、機構改革に伴い資料館の管理が、商業観光課から自然史博物館に移管された。
 ※平成13年4月1日から、自然史博物館の附属施設となった。(豊橋市自然史博物館条例の一部改正)

Ⅲ. 組織及び運営

1. 組織

(1) 運営組織 (令和2年3月31日)

事務長 — 館長



(2) 自然史博物館職員 (令和2年3月31日)

役職名	氏名
館長(嘱託員)	松岡敬二
事務長	仲井慎治
主幹学芸員	坂本博一
学芸専門員	長谷川道明
主査	太田里香
主任学芸員	加藤千茶子
主任学芸員	安井謙介
主任学芸員	吉川博章
中級主事	丹羽美春
学芸員	西浩孝
学芸員	一田昌宏
嘱託員	足立修
嘱託員	鈴木秀治

2. 博物館の使用料等

①入館料：自然史博物館入館料は、豊橋総合動植物公園の入園料の一部として、総合動植物公園入園料に一本化されている。(平成4年4月29日以降)

区分	豊橋総合動植物公園入園料	
	個人	団体
大人	600円	480円
小・中学生	100円	80円

※学齢に達しない者は、無料とする。

②使用料(観覧等)：自然史博物館条例第4条 特別企画展観覧料(以下の金額の範囲内)

区分	特別企画展観覧料 (1人1回につき)	
	個人観覧料	団体観覧料
大人	1,000円	800円
小・中学生	400円	300円

※学齢に達しない者は、無料とする。

※団体とは、30名以上とする。

大型映像観覧料(以下の金額の範囲内)

区分	大型映像観覧料 (1人1回につき)	
	個人観覧料	団体観覧料
大人	1,000円	800円
小人(中学生以下)	400円	300円

※個人利用において学齢に達しない者は、保護者1人につき1人に限り無料とする。

※団体とは、30名以上とする。

③手数料：自然史博物館条例第5条 博物館の資料を撮影等するとき。

区分	単位	手数料 (消費税8%)	手数料 (消費税10%)
複写	1枚につき	20円	20円
模写	1点につき	1,020円	1,030円
模造	1点につき	1,020円	1,030円
拓本	1点につき	1,020円	1,030円
撮影	撮影した写真を出 版物等への掲載を 目的とする場合	1,020円	1,030円
	その他の 場合	300円	300円

④講堂、特別企画展示室使用料：
自然史博物館条例第6条

区分	単位	手数料 (消費税8%)	手数料 (消費税10%)
講堂	午前9時から 正午まで	3,450円	3,510円
	午後1時から 午後4時30分まで	4,080円	4,150円
	午前9時から 午後4時30分まで	7,530円	7,660円
特別企画展示室	午前9時から 正午まで	9,430円	9,600円
	午後1時から 午後4時30分まで	10,480円	10,670円
	午前9時から 午後4時30分まで	19,910円	20,270円

※入場料又は会費の類を徴収する場合の使用料
は、当該使用料の倍額とする。

3. 決算

(1) 令和元年度歳入歳出決算見込

(歳入)

費目	説明	決算見込額
使用料	観覧料等	円 14,856,878
手数料	資料複写等手数料	6,170
財産収入	その他賃借料	1,607,556
諸収入	函録頒布収入	211,200
	講座等収入	65,600
	広告料収入	51,840
	特別企画展 開催事業費	9,755,893
	電話収入	930
	光熱水費収入	131,851
	小計	10,217,314
合計	26,687,918	

(歳出)

費目	決算見込額	費目	決算見込額
報酬	円 9,576,600	(印刷製本費)	円 1,713,338
給料	44,590,112	(光熱水費)	11,846,633
職員手当等	33,191,485	(修繕料)	1,584,815
共済費	17,459,413	(医薬材料費)	5,000
賃金	4,640,860	役員費	1,544,840
報償費	198,000	委託料	39,019,623
旅費	761,940	使用料及び賃借料	16,545,384
需用費	17,932,024	工事請負費	13,047,950
(消耗品費)	2,622,954	原材料費	12,960
(燃料費)	146,234	備品購入費	4,357,201
(食糧費)	13,050	負担金、補助 及び交付金	579,420
		公課費	8,800
		計	203,466,612

4. 豊橋市自然史博物館協議会

第1回

期 日：令和元年7月23日（火）

場 所：自然史博物館講堂

出席者：委員10人、事務局6人

議 題：

- ・会長及び副会長の互選について
会 長 榊原健二郎
副会長 河合 敏博
- ・平成30年度自然史博物館事業報告について
 - (1) 開館30周年記念事業
 - (2) 教育普及活動
 - (3) 調査研究活動
 - (4) 資料収集・保管活動
 - (5) 利用状況及び運営
- ・令和元年度自然史博物館主要事業について
 - (1) 科学教育環境の充実
 - ①施設管理事業
 - (2) 自然科学を学ぶ機会の充実
 - ①重点事業
 - ②教育普及活動
 - ③調査研究活動

第2回

期 日：令和元年12月10日（火）

場 所：自然史博物館講堂

出席者：委員9人、事務局6人

議 題：

- ・大型映像「ウォーキング with ダイナソー」観覧
- ・令和元年度の主な活動について
 - (1) 第34回特別企画展
 - (2) 大型映像の上映
 - (3) 令和元年度の主な事業
- ・令和2年度自然史博物館の主要事業計画(案)について
 - (1) 科学教育環境の充実
 - ①施設管理事業
 - (2) 自然科学を学ぶ機会の充実
 - ①重点事業

②教育普及活動

- ・博物館協議会調査研修について

第3回

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため名古屋市東山動植物園への調査研修を中止。資料送付による開催とした。

議 題：

- ・令和元年度の主な活動等について
 - (1) 第34回特別企画展
 - (2) 大型映像の上映
 - (3) 令和元年度の主な事業
- ・令和2年度自然史博物館主要事業計画(案)について
 - (1) 科学教育環境の充実
 - (2) 自然科学を学ぶ機会の充実
- ・博物館の調査研修について
名古屋市東山動植物園におけるボランティア活動及び教育プログラムの状況について

豊橋市自然史博物館協議会委員

(令和元年度)

役職名	氏名	部門
小中学校長会代表	河合敏博	学校教育
小中学校長会代表	近藤智彦	〃
自治連合会代表	木下正治	社会教育
元自然史博物館ボランティア代表	杉山康子	〃
小中学校PTA連絡協議会代表	鈴木加代	家庭教育
小中学校PTA連絡協議会代表	福井かず枝	〃
元野依小学校校長	榊原健二郎	学識経験
元松葉小学校校長	安村信弘	〃
元豊城中学校教頭	中神則子	〃
愛知教育大学教授	河村善也	〃

5. 各種委員会

(1) 豊橋市自然史博物館資料収集委員会

購入予定資料、寄贈受入予定資料等について審査、意見を聴取する。令和元年度は、当館資料収集方針について委員の意見を求めた。

期 日：令和元年5月10日（金）

場 所：豊橋市自然史博物館講堂

出席者：河村善也委員、藤井伸二委員、江田信豊委員、織田銃一委員、事務局9人

豊橋市自然史博物館資料収集委員

（令和元年度）

選出分野	氏名	所属・役職
地学	河村善也	愛知教育大学名誉教授
植物	藤井伸二	人間環境大学准教授
昆虫	江田信豊	元・南山大学教授 名城大学非常勤講師
脊椎動物	織田銃一	前・岡山理科大学教授 元・名古屋大学大学院教授

(2) 豊橋市自然史博物館研究委員会

第1回

期 日：令和元年7月2日（火）

場 所：豊橋市自然史博物館講堂

出席者：委員6人、事務局8人

議 題：

- (1) 令和元年度の事業について
 - ・第15回自然史博物館自由研究展
 - ・出前授業／標本貸出セット
 - ・第34回特別企画展「深海の玉手箱」
- (2) 学校連携事業の充実と博物館利用の促進について
- (3) その他

第2回

期 日：令和元年9月19日（木）～24日（火）

場 所：豊橋市自然史博物館講堂

出席者：委員7人、事務局2人

議 題：

- (1) 第15回自然史博物館自由研究展応募作品の審査

第3回

新型コロナウイルス感染症予防と拡散防止の観点から、令和2年3月10日（火）に予定していた第3回委員会を中止（令和2年3月5日付）。その後、議題、資料及び質問票を委員長及び各委員に送付（令和2年3月13日付）。

議 題：

- (1) 令和元年度の事業報告
 - ・第15回自然史博物館自由研究展
 - ・出前授業／標本貸出セット
- (2) 来年度の「とよはし科学月間」の開催及び第16回自由研究展実施スケジュール等について
- (3) 学校連携事業の充実と利用促進について
 - ・出前授業／標本貸出セット

豊橋市自然史博物館研究委員（令和元年度）

区分	氏名	所属・役職
委員長	守田雅一	高師台中学校長
委員	高林英伸	五並中学校教諭
委員	藪田ちひろ	豊城中学校教諭
委員	福井宏之	岩田小学校教諭
委員	稲橋卓	富士見小学校教諭
委員	佐羽尾かおり	汐田小学校教諭
委員	鈴木理恵子	天伯小学校教諭

(3) 豊橋市自然史博物館大型映像番組選定委員会

期 日：令和元年6月20日（木）

場 所：豊橋市自然史博物館講堂

出席者：委員長、委員4人、事務局5人

欠席者：なし

議 題：

- ・令和元年度後期からの自然史博物館大型映像デジタル番組組込・宣伝業務の契約候補者の選定
- ・その他

豊橋市自然史博物館大型映像番組選定委員

(令和元年度)

区分	氏名	所属・役職
委員長	三輪多恵子	豊橋創造大学准教授、のんほいパーク盛り上げ隊代表
委員	佐々木順一郎	ケーブルネットワーク株式会社参与
	黒柳勉	豊橋市立中学校理科研究部長
	千種優子	豊橋市立小学校理科研究部長
	瀧川直史	総合動植物公園長

6. 自然史博物館ボランティア

市民参加による博物館事業の推進及び生涯学習に資するため、平成8年度から自然史博物館ボランティアの一般公募を行っている。常設展示及び特別企画展の解説活動を主とする「教育普及ボランティア」と、標本の処理、登録作業を行う「資料整理ボランティア」がある。令和元年度は、73人が登録し、活動を行った。

(1) 主な活動

1) 新規ボランティア説明会及び研修

平成24年度から新規応募者向けにボランティア活動を紹介する説明会を開催している。本年度は11人の応募者があり、所定の研修後、11人を採用した。

2) 運営委員会の開催

ボランティア主催の行事を自主的に企画・運営する運営委員に7人が選出され、12回の運営委員会が開催された。

3) ボランティア・ガイドツアー

ボランティアによる常設展示室のガイドツアーを平成22年度から開催。平成26年1月からは毎週土・日曜日に実施し、好評を得ている。本年度の開催回数は143回、参加人数は3,273人であった。

4) ボランティア通信「ぷしったこ」の発行

ボランティアの相互交流と情報交換を目的としたボランティア通信「ぷしったこ」を28号から30号まで発行した。

5) 館長による常設展示室解説会

ボランティアにより深く自然史博物館の展示を理解してもらうとともに、その教育普及活動に資することを目的とした、館長による常設展示室解説会を7回開催した。参加人数はのべ142人であった。



6) 特別企画展関連行事での活動

「深海の玉手箱」の会場内にて、展示解説などを行った。

※内容は別途掲載 (p. 5)

7) 恐竜大掃除

令和元年12月13日(金)に開催された恐竜大掃除に14人が参加し、野外恐竜ランドの実物大恐竜模型及び博物館内の恐竜骨格標本の清掃を職員とともにいった。

8) ボランティア野外研修会

期 日：令和2年1月25日

場 所：鳳来寺山周辺

内 容：設楽層群の見学

参加者：24人



9) ボランティア主催行事

下記の行事を自主的に企画し、開催した。

①ボランティア総会

期 日：令和元年5月19日(日)

参加者：42人

②第9回自主研修会・博物館見学

期 日：令和元年6月29日(土)

場 所：沼津港深海水族館

参加者：45人

③ボランティア懇親会

期 日：令和元年9月13日(金)

場 所：豊橋市内

参加者：28人

④豊橋市職員視察研修への対応

市民協働推進課主催の市役所職員を対象とした視察研修(参加者24人)に対し、ボランティア活動の概要を説明するとともに、実際の活動を紹介した。

期 日：令和元年12月5日(木)

参加者：15人

令和元年度のボランティア活動実績（平成31年4月～令和2年3月）

分野	登録人数 (人)	活動のべ人数 (人)	活動のべ時間 (時間)	活動内容
運営委員会	7	83	148	自主研修等の企画・運営
編集委員会	6	39	95	ボランティア通信の編集・発行
教育普及	31	362	1,159	特別企画展解説、企画展解説等
資料整理	植物	3	0	標本台紙貼等
	貝類	6	83	標本ラベル記入、リスト作成等
	昆虫	8	134	標本作製等
	魚類	2	4	標本作製等
	脊椎動物	21	304	標本作製等
	化石	12	164	化石クリーニング、登録等
	鉱物・岩石	4	26	登録、リスト作成等
	図書	3	67	図書受入、登録、配架等
小計	59	782	1,836	
計	103	1,266	3,238	

※登録人数は73人、内16人が複数分野に登録

IV. 条例、規則、要綱

豊橋市自然史博物館条例

(昭和 63 年 3 月 31 日条例第 6 号)

(趣 旨)

第 1 条 この条例は、博物館法（昭和 26 年法律第 285 号。以下「法」という。）第 18 条の規定に基づき、豊橋市自然史博物館及びその附属施設（以下「自然史博物館」という。）の設置に関し、必要な事項を定めるものとする。

一部改正〔平成 13 年条例 13 号〕

(設 置)

第 2 条 自然史に関する資料（以下「博物館資料」という。）を収集し、保管し、又は展示して一般公衆の利用に供し、併せて博物館資料に関する調査研究を行い、市民の文化の向上に資するため、自然史博物館を次の場所に置く。

名称	位置
豊橋市自然史博物館	豊橋市大岩町字大穴 1 番地の 238
(附属施設) 豊橋市石巻自然科学資料館	豊橋市石巻町字南山 93 番地の 2

一部改正〔平成 13 年条例 13 号〕

(事 業)

第 3 条 自然史博物館は、その目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 博物館資料の収集、保管、展示及び利用に関すること。
- (2) 博物館資料に関する調査研究を行うこと。
- (3) 博物館資料に関する解説書、図録、調査研究の報告書等を作成し、頒布すること。
- (4) 博物館資料に関する講演会、研究会、講習会等を開催すること。
- (5) 自然史に関する展示等のための会場を提供すること。
- (6) その他教育委員会が必要と認める事業を行うこと。

(観覧等)

第 4 条 特別企画展示室において特別な企画に基づく博物館資料の展示品を観覧しようとする者は、別表第 1 に定める額の範囲内において市長が定める使用料を納付しなければならない。

2 特別企画展示室において大型映像を観覧しようとする者は、別表第 2 に定める額の範囲内において市長が定める使用料を納付しなければならない。

全部改正〔平成 4 年条例 15 号〕

一部改正〔平成 23 年条例 13 号〕

(博物館資料の利用等)

第 5 条 博物館資料の閲覧、複写、模写、模造、拓本、撮影等をしようとする者は、教育委員会の承認を受けなければならない。

2 前項の承認を受けた者は、その際別表第 3 に定める手数料を納付しなければならない。

一部改正〔平成 4 年条例 15 号〕

(使用の承認等)

第 6 条 自然史に関する展示又は博物館資料に関する講演会、研究会、講習会等のために自然史博物館を使用しようとする者は、教育委員会の承認を受けなければならない。

2 前項の承認を受けた者（以下「使用者」という。）は、その際別表第 4 に定める使用料を納付しなければならない。

一部改正〔平成 4 年条例 15 号〕

(使用料等の減免)

第 7 条 市長は、特別の事由があると認めるときは、使用料又は手数料を減免することができる。

(使用の制限)

第 8 条 教育委員会は、次の各号の一に該当する場合には、使用を承認しない。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認めるとき。
- (2) 管理上支障があると認めるとき。
- (3) その他教育委員会が必要があると認めるとき。

(権利譲渡の禁止等)

第9条 使用者は、使用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

2 使用者は、自然史博物館に特別の設備をしようとするときは、あらかじめ教育委員会の許可を受けなければならない。

(使用承認の取消等)

第10条 教育委員会は、次の各号の一に該当すると認められた場合には、自然史博物館の使用の承認を取り消し、又は使用の停止を命ずることができる。

(1) 使用者が、この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。

(2) 公益上又は管理上特に必要があると認められたとき。

(使用料等の還付)

第11条 納付された使用料又は手数料は、還付しない。ただし、市長が特別の事由があると認められたときは、その全部又は一部を還付することができる。

(入館の制限)

第12条 教育委員会は、次の各号の一に該当する場合には、入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

(1) 入館者に迷惑をかけ、又は自然史博物館の施設、設備、博物館資料等を損傷するおそれがあると認められたとき。

(2) 管理上支障があると認められたとき。

(原状回復)

第13条 使用者は、自然史博物館の使用を終わったとき又は第10条の規定により使用の承認を取り消され、若しくは使用を停止されたときは、直ちに原状に回復しなければならない。

(損害賠償)

第14条 入館者又は使用者は、自然史博物館の施設、設備、博物館資料等を損傷し、又は滅失したときは、市長の指示に従い、これを原状に回復し、又は損害を賠償しなければならない。ただし、市長が特別の事由があると認

めたときは、その全部又は一部を免除することができる。

(自然史博物館協議会)

第15条 法第20条第1項の規定に基づき、自然史博物館に豊橋市自然史博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員の定数は、12人以内とする。

3 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から教育委員会が任命する。

4 協議会の委員の任期は2年とし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 協議会の委員は、再任されることができる。
一部改正〔平成24年条例8号〕

(委 任)

第16条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

※別表類は下記の箇所を参照。

第4条 別表第1. 50ページ ②

〃 別表第2. 〃 〃

第5条 別表第3. 51ページ ③

第6条 別表第4. 51ページ ④

豊橋市自然史博物館条例施行規則

(昭和63年4月5日教育委員会規則第4号)

(趣 旨)

第1条 この規則は、豊橋市自然史博物館条例(昭和63年豊橋市条例第6号。以下「条例」という。)第16条の規定に基づき、条例の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 豊橋市自然史博物館及び附属施設(以下「自然史博物館」という。)の開館時間は、午前9時から午後4時30分までとする。ただし、教育委員会が必要があると認められたときは、開館時間を変更することができる。

2 自然史博物館の入館時間は、午前9時から午後4時までとする。ただし、教育委員会が

必要があると認めるときは、入館時間を変更することができる。

一部改正〔平成13年教委規則8号〕

(休館日)

第3条 自然史博物館の休館日は、次の各号に掲げる施設に応じ、当該各号に定めるとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

(1) 豊橋市自然史博物館 次に掲げる日

ア 1月5日から12月28日までの毎週月曜日。ただし、その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日

イ 1月1日及び12月29日から同月31日まで

(2) 豊橋市石巻自然科学資料館 月曜日。ただし、その日が休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日

全部改正〔平成13年教委規則8号〕

一部改正〔平成19年教委規則3号〕

(観覧等)

第4条 条例第4条第1項の規定により、特別な企画に基づく展覧会(以下「特別企画展」という。)を観覧しようとする者(以下「特別企画展観覧者」という。)は、使用料の納付と引換えに教育委員会がその都度定める様式による観覧券の交付を受けなければならない。

2 条例第4条第2項の規定により、大型映像を観覧しようとする者は、使用料の納付と引き換えに観覧券(様式第1)の交付を受けなければならない。

3 前2項又は次条第1項の規定により交付された観覧券は、特別企画展示室の入口において改札と同時に半券を回収する。ただし、団体観覧の場合は、この限りでない。

全部改正〔平成4年教委規則14号〕

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(前売券の交付)

第5条 教育委員会は、特別企画展観覧者に対しては、前条第1項に規定する観覧券にかえて教育委員会がその都度定める様式による前売観覧券(以下「前売券」という。)を交付することができる。

2 前項の前売券を交付する場合の使用料の額は、当該前売券に係る特別企画展の団体観覧料と同額とする。

追加〔平成8年教委規則5号〕

(優待券等の発行)

第6条 教育委員会が特に必要があると認めるときは、優待券又は招待券を発行することができる。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(博物館資料の利用)

第7条 条例第5条第1項の規定により博物館資料(条例第2条に規定する博物館資料をいう。以下同じ。)の閲覧、複写、模写、模造、拓本、撮影等をしようとする者は、博物館資料利用申請書(様式第2)を教育委員会に提出しなければならない。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(使用の承認申請手続)

第8条 条例第6条第1項の規定により、自然史博物館の使用承認を受けようとする者は、使用承認申請書(様式第3)を教育委員会に提出しなければならない。

2 前項の規定による申請の手続は、使用日の属する月の6月前から使用日前7日前までにしなければならない。ただし、教育委員会が特別の事由があると認めるときは、この限りでない。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(使用の承認)

第9条 教育委員会は、前条の規定による申請を承認したときは、使用承認書(様式第4)を申請者に交付する。

2 前項の承認には、管理上必要な条件を附することができる。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(手数料の減免)

第10条 条例第7条の規定により、手数料の減免を受けようとする者は、手数料減免申請書(様式第5)を市長に提出しなければならない。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(使用料の減免)

第11条 条例第7条の規定により使用料を減免することができる場合は、次のとおりとする。

(1) 免除

ア 身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の所持者及びこれらの者の引率者が特別企画展又は大型映像を観覧するとき。

イ 豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、北設楽郡設楽町、同郡東栄町及び同郡豊根村(以下「東三河地域」という。)の小学校、中学校及びこれらに準ずる学校の教育活動の一環として児童又は生徒及びこれらの者の引率者が特別企画展又は大型映像を観覧するとき。

ウ 東三河広域連合の交付するほの国こどもパスポートの所持者が特別企画展又は大型映像を観覧するとき。

エ 東三河地域に居住し、又は通園している学齢に達していない者のうち、保護者1人につき2人目以降の者が大型映像を観覧するとき。

(2) 免除又は減額

ア 観覧しようとする日の属する年の12月31日までに70歳以上となる者(市内に住所を有する者に限る。)が特別企画展又は大型映像を観覧するとき。

イ 市長が特別の事情があると認めるとき。

2 前項第1号イ及び第2号イの規定により使用料の免除又は減額を受けようとする者は、

使用料減免申請書(様式第6又は様式第7)を市長に提出しなければならない。

3 第1項第1号(イを除く。)及び第2号アの規定により使用料の免除又は減額を受けようとする者は、その事由に該当することを係員に示さなければならない。

全部改正〔平成5年教委規則6号〕

一部改正〔平成8年教委規則5号・1997年7号・2014年4号・2016年10号・2018年7号〕

(特別の設備)

第12条 条例第9条第2項の規定により許可を受けようとする者は、自然史博物館の使用承認の申請の際に併せてその申請をしなければならない。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(使用料等の還付)

第13条 条例第11条ただし書の規定により既納の使用料又は手数料の全部又は一部を還付することができる場合は、次のとおりとする。

(1) 特別企画展若しくは大型映像を観覧しようとする者又は使用者の責に帰することのできない事由で観覧し、又は使用することができなくなったとき。

(2) その他市長が特別の事由があると認めるとき。

一部改正〔平成4年教委規則10号・14号・1992年5号〕

(博物館資料の館外貸出し)

第14条 博物館資料は、館外貸出しを行わないものとする。ただし、教育委員会が適当と認められたものについては、この限りでない。

2 前項の館外貸出しを受けようとする者は、資料館外貸出申請書(様式第8)を教育委員会に提出しなければならない。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(博物館資料の寄託)

第15条 自然史博物館は、博物館資料の寄託を受けることができる。

2 博物館資料を寄託しようとする者(以下「寄託者」という。)は、資料寄託申請書

(様式第9)を教育委員会に提出しなければならない。

- 3 教育委員会は、前項の規定による申請を承認したときは、寄託者に資料受託書(様式第10)を交付するものとする。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(自然史博物館協議会)

第16条 条例第15条第1項に規定する豊橋市自然史博物館協議会(以下「協議会」という。)に会長及び副会長各1人を置き、それぞれ委員の互選により定める。

- 2 会長及び副会長の任期は各1年とし、再任を妨げない。
- 3 会長は会務を総理し、会議の議長となる。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(会議)

第17条 協議会の会議は、会長が招集する。

- 2 協議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(説明又は資料の請求等)

第18条 会長は、会議において関係職員に対し、説明又は資料の提出を求めることができる。

- 2 関係職員は、会議に出席して意見を述べることができる。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(委任)

第19条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

一部改正〔平成8年教委規則5号・12年7号〕

豊橋市自然史博物館資料収集委員会設置要綱

(設置)

第1条 豊橋市自然史博物館(以下「自然史博物館」という。)における博物館資料の収集を適正かつ円滑に行うため、豊橋市自然史博物館資料収集委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(組織)

第2条 委員会は、5人以内の委員をもって組織する。

- 2 委員は、自然史各分野について専門的な知識を有する者から教育委員会が委嘱する。
- 3 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。
- 4 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 前各項の規定にかかわらず、必要に応じ、第4条の規定に基づく審査案件の専門知識を有する者を臨時委員として委嘱することができる。

(会議)

第3条 委員会は、教育委員会が招集する。

- 2 審査案件が単件又は同一の専門分野のみの場合は、当該案件について専門的な知識を有する委員のみによる審査に代えることができる。
- 3 委員会は、非公開とする。

(審査事項等)

第4条 委員会は、博物館資料となる資料の購入又は受入れに関し、次に掲げる事項を審査するものとする。

- (1) 対象となる資料の真贋及び学術的価値に関する事項
 - (2) 対象となる資料の評価額に関する事項
 - (3) 対象となる資料の適法性に関する事項
 - (4) 前3号に掲げるもののほか、資料の購入又は受入れに関し市長が必要と認める事項
- 2 次の各号のいずれかに該当する場合、自然史博物館は、あらかじめ委員会の意見を聴取するものとする。
- (1) 評価額が1件100万円以上の博物館資料

の購入、寄贈又は寄託を受け入れようとするとき。

(2) 前号に掲げるもののほか、特に必要と認める資料を購入し、又は受け入れようとするとき。

3 委員会は、第1項の規定による審査の終了後、博物館資料審査報告書（別添様式）を作成し、審査結果を報告する。

4 第1項の規定による審査の内容について利害関係を有する委員は、前3項に基づく任務に加わることができない。

(庶務)

第5条 委員会の庶務は、自然史博物館において処理する。

(秘密の保持)

第6条 委員は、職務上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。

(雑則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附則

この要綱は、平成30年7月27日から施行する。

豊橋市自然史博物館研究委員会要綱

(設置)

第1条 豊橋市自然史博物館（以下「自然史博物館」という。）の教育普及活動の効率的な推進を図るために、豊橋市自然史博物館研究委員会（以下「研究委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 研究委員会は、次に掲げる事業について、必要に応じ協議し、助言を行う。

- (1) 自然史博物館の施設利用に関すること。
- (2) 学校との連携事業に関すること。
- (3) その他特に必要と認められること。

(委員)

第3条 研究委員会は、委員長及び委員をもって構成し、定数は10名以内とする。

2 委員長及び委員は、市内小中学校の教諭で理科又は美術を担当するものうちから教育委員会が委嘱する。

3 委員長は、研究委員会を招集し、委員会の議長となる。

(委員会)

第4条 研究委員会は、必要に応じ委員長が招集する。

2 研究委員会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 研究委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(委員の任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げないものとする。

2 前項の規定にかかわらず、後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(守秘義務)

第6条 委員長及び委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その任期後も、同様とする。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、自然史博物館において処理する。

(委任)

第8条 研究委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定めるものとする。

附則

この要綱は、平成15年6月4日から施行する。

自然史博物館の概要

経過

昭和 58 年	デンバー自然史博物館（アメリカ）と友好提携 実物恐竜化石アナトサウルス購入
昭和 60 ～ 62 年度	建設工事（市制施行80周年記念事業）
昭和 63 年 5 月 1 日	開館
平成 4 年 4 月 29 日	総合動植物公園オープン
平成 4 年 12 月 19 日	大型映像スタート
平成 7 年 3 月 25 日	郷土の自然展示室展示改装オープン
平成 16 年 4 月 29 日	古生代展示室展示改装オープン
平成 20 年 4 月 26 日	中生代展示室展示改装オープン
平成 28 年 5 月 2 日	新生代展示室展示改装オープン

展示室等面積

単位：㎡ 常設展示室の標本展示数

室名	当初面積	増築面積 (平成4年)	増築面積 (平成14年)	増築面積 (平成18年)	計	展示室名	展示数 (点)
特別企画展示室	0	658	0	0	658	イントロホール	9
郷土の自然展示室 (ガラパゴス含む) ^{※1}	224	465	0	0	689	古生代展示室	564
収蔵庫	116	436	0	0	552	中生代展示室/ エドモントサウルス展示室	330
学習室・研究室・ 製作室等	159	278	0	0	437	新生代展示室	624
古・中・新生代展 示室 ^{※2}	1,276	0	242	224	1,742	自然史スクエア	2
設備機械室	221	151	31	25	428	郷土の自然展示室	2,387
廊下・便所・ その他	1,591	887	0	0	2,478	その他	299
合計	3,587	2,875	273	249	6,984	計	4,215

※1 1階（ガラパゴス含む）：500㎡、2階：189㎡

※2 古生代展示室：506㎡、中生代展示室・エドモントサウルス展示室：794㎡、新生代展示室：442㎡

令和2年3月31日現在

豊橋市民愛市憲章

わたくしたち豊橋市民は

1. 心をあわせ美しい町をつくりましょう
1. よく働き豊かな町をつくりましょう
1. 愛情をもちあたたかい町をつくりましょう
1. きまりを守り明るい町をつくりましょう
1. 教養をたかめ文化の町をつくりましょう

豊橋市自然史博物館年報

第 32 号 令和元（平成 31）年度

令和 2 年 6 月 12 日 発行

発行 豊橋市自然史博物館

〒 441-3147

豊橋市大岩町字大穴 1-238

電話 (0532)41-4747

FAX (0532)41-8020

<https://www.toyohaku.gr.jp/sizensi/>

編集 有限会社 伊藤印刷

〒 440-0004

豊橋市忠興三丁目 3-7

電話 (0532)63-6385

FAX (0532)39-3985